朝日村公共施設個別施設計画
（改訂版）

令和７年３月

朝　　日　　村

朝日村公共施設個別施設計画：目次

第１章 公共施設個別施設計画の背景・目的等 1
１ 計画の背景 1
２ 計画の目的 1
３ 計画の位置づけ 2
第２章 公共施設個別施設計画の対象施設、計画期間 3
１ 対象施設 3
２ 計画期間 7
第３章 公共施設を取り巻く現状と課題 8
１ 本村における人口の動向 8
２ 児童数の推移 10
３ 公共施設の保有と配置状況 11
（１）施設類型別の延床面積 11
（２）築年別整備状況 13
４ 施設関連経費の推移 15
５ 今後の維持・更新コスト（従来型） 16
第４章 公共施設の実態調査 17
１ 構造躯体の健全性の把握 17
２ 劣化状況の評価方法 18
３ 劣化状況評価結果 19
第５章 適正な配置と数量の適正化に関する基本方針等 23
１ 総資産量適正化（適正配置）の方向性の検討 23
２ 総資産量適正化の方向性の基本的な考え方 23
３ 今後の方向性の考え方 24
４ 今後の方向性の定義 25
５ 学校施設の目指すべき姿 26
第６章 公共施設長寿命化計画の基本的な方針等 27
１ 公共施設長寿命化計画の基本的な方針 27
２ 改修等の基本的な方針 28
３ 目標耐用年数の設定 29
４ 更新周期 30
５ 今後の維持・更新コスト（長寿命化型） 31
第７章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等 32
１ 学校施設における改修等の整備水準 32
２ 維持管理の項目・手法等 33

第８章 施設類型別の個別施設計画（中・長期計画）..... 35
１ 個別施設計画（中・長期計画）について..... 35
２ 優先順位の考え方..... 35
３ 施設類型別の個別施設計画表..... 36
（１）行政系施設①..... 38
（１）行政系施設②..... 40
（２）学校教育系施設..... 42
（３）子育て支援施設..... 44
（４）村民文化系施設..... 46
（５）社会教育系施設..... 48
（６）スポーツ・レクリエーション系施設①..... 50
（６）スポーツ・レクリエーション系施設②..... 52
（６）スポーツ・レクリエーション系施設③..... 54
（７）産業系施設..... 56
（８）保健・福祉施設..... 58
（９）公園施設..... 60
(10) その他施設①..... 62
(11) その他施設②..... 64
４ 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）..... 66
５ 個別施設計画（中・長期計画）の実施について..... 67
（１）村民一人当たりの延床面積の推計..... 67
（２）個別施設計画の実施に向けて..... 67
第９章 継続的運用方針..... 68
１ 情報基盤の整備と活用..... 68
２ 財源の確保..... 69
３ 推進体制等の整備..... 69
４ フォローアップの実施方針..... 69

第１章 公共施設個別施設計画の背景・目的等

１ 計画の背景

朝日村（以下、本村という。）では人口の増加や住民のニーズ等を踏まえて、多くの公共施設（庁舎・学校等の公共建築物）や、道路・橋梁・上下水道等のインフラ施設などを整備し、行政サービスの提供、住民生活の基盤整備等に取り組んできました。

しかし、これらの公共施設も徐々に老朽化し、近い将来大量更新時代を迎え、今後の維持管理、更新等には多額の経費が必要になると見込まれます。

一方、財政面では人口減少による村税収入の減少、少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加などによる財政状況の悪化、社会面では年齢構成や住民ニーズの変化など、公共施設を取り巻く環境は大きく変化してきています。

国においても老朽化対策を喫緊の課題と位置づけ、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、平成 26 年 4 月に「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に要請しました。その後、平成 30 年３月、令和４年４月及び令和５年 10 月に「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」が改訂され、総合管理計画の充実を図ることが求められています。

このため本村では、こうした状況を踏まえ、将来を見据えて公共施設全体のあり方を見直すとともに『賢く使う』ための方策として、平成 28 年７月に策定し、令和４年３月に改訂した「朝日村公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。)」により、基本的な考え方、推進方針、推進体制などを定めました。

次世代への負担をできる限り軽減し、財政負担を平準化するためにも、公共施設の現状を把握し、長期的な視点で利活用の促進や再配置の方向性、及び長寿命化*1・更新等の方針・計画を早急に検討することが求められています。

２ 計画の目的

朝日村公共施設個別施設計画（以下「本計画」という。）は、総合管理計画で策定した方針や目標を達成し、公共施設の全庁的・総合的な管理を推進するために、個別施設ごとに中長期計画を定めライフサイクルコスト*2 の縮減を図り、財政負担を軽減・平準化するとともに、新しい価値を見つけ効果的・効率的に活用し、村民に安全安心で質の高い施設サービスを提供することを目的とします。

---

*1 長寿命化：計画的な保全を実施することにより、建物の構造的・機能的な寿命を延ばすこと。

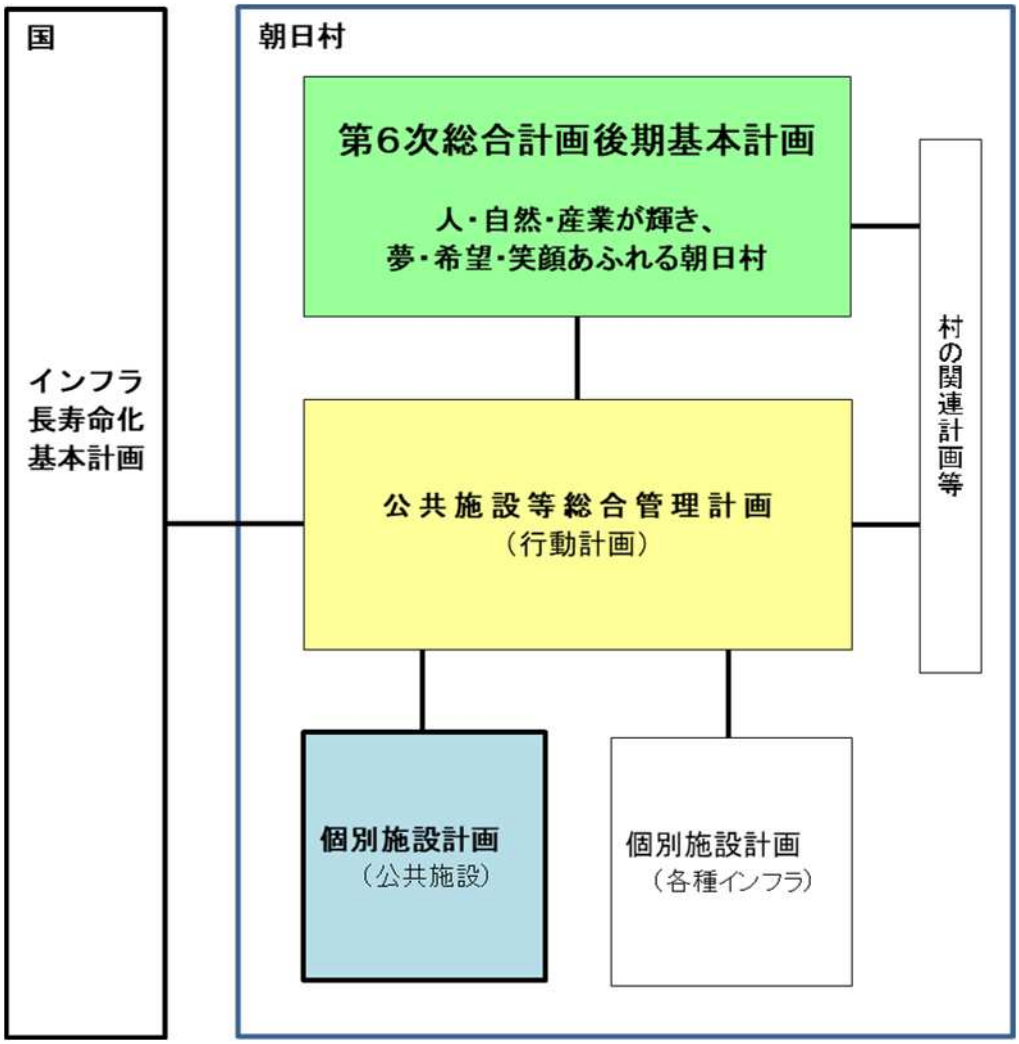
*2 ライフサイクルコスト：建物の建設・建築費だけでなく、維持管理、運営、修繕、解体までの事業全体にわたり必要な総費用のこと。建設費やエネルギー費、保全費、改修・更新費などで構成される。

3 計画の位置づけ

国において公共施設等*3 の老朽化対策として決定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づいて策定した総合管理計画の基本的な方針に従って、公共施設等の維持管理・更新等を着実に推進するための取組方策を明らかにする「行動計画」の策定が地方公共団体に求められています。

この「行動計画」に基づき、施設ごとの具体的な対応方針を定める本計画を策定するものです。

◆図表 1-1 本計画の位置づけ



*3 公共施設等：公共施設、公用施設その他の朝日村が所有する建築物、その他の工作物をいう。

第２章 公共施設個別施設計画の対象施設、計画期間

１ 対象施設

本計画では公共施設等のうち公共施設（公共建築物）を対象とします。（道路、橋梁、上下水道等のインフラ施設は対象外とします。）

公共施設の対象範囲は、村営住宅、重要文化財を除く公共建築物とし、本計画で扱う村有公共施設は、延床面積が 27,761.74 ㎡（112 棟）となります。

本計画の対象とする公共施設を下表に示します。

◆図表 2-1-1 対象施設一覧

No.	大分類	施設名	建物名	建築年	延床面積（㎡）	構造
1	行政系	役場庁舎	役場庁舎	平成29年(2017)	2,245.00	W（木造）
2		公用車車庫	公用車車庫A	平成29年(2017)	70.20	LGS（軽量鉄骨造）
3			公用車車庫B	平成29年(2017)	88.70	LGS（軽量鉄骨造）
4			公用車車庫C	平成29年(2017)	70.42	LGS（軽量鉄骨造）
5			公用車車庫D	平成29年(2017)	84.51	LGS（軽量鉄骨造）
6			公用車車庫E	平成29年(2017)	84.51	LGS（軽量鉄骨造）
7			公用車車庫F	平成29年(2017)	39.11	LGS（軽量鉄骨造）
8		職員用器具庫	職員用器具庫	平成29年(2017)	20.50	LGS（軽量鉄骨造）
9		喫煙所	喫煙所	平成29年(2017)	6.27	LGS（軽量鉄骨造）
10		消防詰所	第1分団詰所	平成13年(2001)	177.88	S（鉄骨造）
11			第2分団詰所	昭和56年(1981)	115.19	W（木造）
12			第3分団詰所	昭和52年(1977)	84.19	W（木造）
13			第4分団詰所	昭和60年(1985)	158.62	W（木造）
15			第5分団詰所	令和2年(2020)	128.00	S（鉄骨造）
16			水防倉庫	平成元年(1989)	50.00	LGS（軽量鉄骨造）
115		西洗馬防災センター	西洗馬防災センター	令和5年(2023)	270.00	S（鉄骨造）
116			防災倉庫	令和5年(2023)	40.00	S（鉄骨造）
17	学校教育系	朝日小学校	普通教室棟	昭和62年(1987)	2,237.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
18			特殊学級	平成14年(2002)	102.00	S（鉄骨造）
19			特別教室棟	昭和63年(1988)	1,986.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
20			昇降口棟	昭和63年(1988)	251.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
21			粘土焼成室	昭和63年(1988)	24.00	S（鉄骨造）

◆図表 2-1-2 対象施設一覧

No.	大分類	施設名	建物名	建築年	延床面積（㎡）	構造
22	学校教育系	朝日小学校	給食棟	昭和62年(1987)	183.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
23			プロパン庫	昭和62年(1987)	9.00	CB（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）
24			倉庫1	昭和62年(1987)	54.00	CB（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）
25			倉庫2	昭和63年(1988)	30.00	CB（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）
26			アリーナ	昭和63年(1988)	1,066.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
27			障害者トイレ	平成8年(1996)	41.00	S（鉄骨造）
28			小学校プール	平成10年(1998)	916.00	W（木造）
29			倉庫3	昭和62年(1987)	60.00	CB（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）
30	子育て支援	子育て支援センター	子育て支援センター	昭和53年(1978)	1,135.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
31		あさひ保育園	園舎	平成26年(2014)	1,396.44	W（木造）
32			プール棟	平成26年(2014)	137.82	S（鉄骨造）
33			あいさつ広場	平成26年(2014)	87.61	S（鉄骨造）
34			備蓄倉庫	平成26年(2014)	9.27	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
35	村民文化系	中央公民館	中央公民館	昭和48年(1973)	1,322.67	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
36	社会教育系	マルチメディアセンター・健康センター	AYTマルチメディアセンター	平成9年(1997)	766.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
37		鳥飼いの清水休憩所	鳥飼いの清水休憩所（茶室）	平成5年(1993)	43.86	W（木造）
38			便所	平成5年(1993)	5.78	W（木造）
39		朝日美術館	朝日美術館	平成14年(2002)	822.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
40			歴史民俗資料館	平成2年(1990)	497.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
41			便所	平成13年(2001)	19.80	W（木造）
42		陶芸施設	陶芸施設	平成7年(1995)	13.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
43		天文台	天文台	平成6年(1994)	10.89	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
44	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	緑のコロシアム	管理棟	平成5年(1993)	43.02	W（木造）
45			野外音楽堂楽屋	平成5年(1993)	18.20	W（木造）
46		あさひプライムスキー場	カルテットホール	平成4年(1992)	571.52	W（木造）
47			休憩所ノエル	平成5年(1993)	233.42	W（木造）
48			機械室1	平成4年(1992)	117.80	LGS（軽量鉄骨造）
49			機械室2	平成4年(1992)	41.40	LGS（軽量鉄骨造）
50			機械室3	平成4年(1992)	69.56	LGS（軽量鉄骨造）
51			第1ペアリフト運転室	平成3年(1991)	9.72	W（木造）

◆図表 2-1-3 対象施設一覧

No.	大分類	施設名	建物名	建築年	延床面積（㎡）	構造
52	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	あさひプライムスキー場	第１ペアリフト監視室	平成3年(1991)	3.24	W（木造）
53			第２ペアリフト運転室	平成3年(1991)	9.72	W（木造）
54			第２ペアリフト監視室	平成3年(1991)	3.24	W（木造）
55			第２ペアリフト中間監視室	平成5年(1993)	3.24	W（木造）
56		緑の体験館	緑の体験館	昭和63年(1988)	707.78	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
57			便所	昭和63年(1988)	23.47	W（木造）
58			コテージ1	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
59			コテージ2	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
60			コテージ3	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
61			コテージ4	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
62			コテージ5	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
63			コテージ6	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
64			コテージ7	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
65			コテージ8	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
66			コテージ9	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
67			コテージ10	平成26年(2014)	60.32	W（木造）
68		アサヒマレットゴルフ場	管理棟	平成元年(1989)	65.32	W（木造）
69			トイレ棟	平成元年(1989)	14.90	W（木造）
70		野俣沢林間キャンプ場	野俣沢林間キャンプ場管理棟	平成5年(1993)	116.35	W（木造）
71			便所	平成5年(1993)	59.20	W（木造）
72			炊事場	平成7年(1995)	28.98	W（木造）
73			便所（上）	平成7年(1995)	59.21	W（木造）
74			バンガロー1	平成26年(2014)	28.03	W（木造）
75			バンガロー2	平成26年(2014)	28.03	W（木造）
76			バンガロー3	平成26年(2014)	28.03	W（木造）
77		体育館	農業者トレーニングセンター	昭和58年(1983)	2,391.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
78		ゲートボール場	アサヒゲートボールセンター	平成2年(1990)	524.00	W（木造）
79		朝日村ローラースケート場及びアイススケート場	スケートリンクハウス	平成25年(2013)	64.60	W（木造）
81		ゲストハウス	ゲストハウス	平成31年(2019)	146.48	W（木造）
82			ゲストハウス（体験棟）	大正8年(1919)	197.35	W（木造）
118		交流拠点施設	物置	大正8年(1919)	19.83	W（木造）

◆図表 2-1-4 対象施設一覧

No.	大分類	施設名	建物名	建築年	延床面積（㎡）	構造
84	産業系	林業活動拠点施設	林業活動拠点施設	平成4年(1992)	53.00	W（木造）
85		もくもく体験館	もくもく体験館	平成5年(1993)	126.55	W（木造）
86			ストックハウス	平成26年(2014)	54.66	W（木造）
87		クラフト体験館	クラフト体験館	昭和62年(1987)	336.72	W（木造）
88		かたろう舎	かたろう舎	平成13年(2001)	140.73	W（木造）
89		三俣森林公園作業棟	三俣森林公園作業棟	平成17年(2005)	69.00	W（木造）
90	保健・福祉	マルチメディアセンター・健康センター	健康センター	昭和61年(1986)	896.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
91		かたくりの里	地域交流多目的ｾﾝﾀｰえべやかたくりの里	平成6年(1994)	707.53	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
92			デイサービスセンター　かたくりの里	平成27年(2015)	580.80	S（鉄骨造）
93			駐車場棟	平成27年(2015)	67.03	S（鉄骨造）
94			除雪車車庫棟	平成27年(2015)	10.29	S（鉄骨造）
96	公園	古見ふれあい親水公園管理棟	古見ふれあい広場親水公園管理棟	平成8年(1996)	172.25	W（木造）
97		ウォーターパークトイレ	ウォーターパークトイレ	昭和63年(1988)	17.98	W（木造）
99	その他	役場書庫	役場倉庫	昭和61年(1986)	117.00	S（鉄骨造）
100		旧消防指揮車車庫	旧消防指揮車車庫	平成21年(2009)	37.60	LGS（軽量鉄骨造）
101		下古見トイレ	下古見トイレ	平成3年(1991)	11.76	W（木造）
102		東電道路トイレ	東電道路トイレ	平成6年(1994)	15.23	W（木造）
103		西洗馬集荷所トイレ	西洗馬集荷所トイレ	平成13年(2001)	14.00	W（木造）
104		機械格納庫	機械格納庫	平成6年(1994)	117.00	LGS（軽量鉄骨造）
105		機械保管倉庫	機械保管倉庫	平成6年(1994)	42.00	LGS（軽量鉄骨造）
106		公民館南車庫	公民館南車庫	昭和63年(1988)	117.00	W（木造）
107		グラウンド公衆トイレ	運動広場グラウンドトイレ	平成10年(1998)	40.00	W（木造）
108		朝日小学校	教員住宅	昭和61年(1986)	167.00	W（木造）
109		運動広場倉庫	運動広場倉庫	昭和57年(1982)	85.00	LGS（軽量鉄骨造）
110		里づくり館	里づくり館	平成6年(1994)	104.00	RC（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）
111		針尾加工所	針尾加工所	平成6年(1994)	245.00	W（木造）
112		大道加工所	大道加工所	平成7年(1995)	140.00	W（木造）
113		旧役場庁舎	便所	平成12年(2000)	32.06	W（木造）
114		旧農産加工施設	旧農産加工施設	昭和61年(1986)	55.47	W（木造）

２ 計画期間

改訂した本計画の計画期間は、最上位計画である「朝日村総合計画」や「総合管理計画」などと連動しながら、10　年間（令和７年（2025）年度～令和 16（2034）年度）を計画期間とします。

ただし、この期間内でも上位計画の更新、人口の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直すこととします。

なお、コスト試算期間は計画上のゆとりをもたせて 40 年とします。

第３章 公共施設を取り巻く現状と課題

１ 本村における人口の動向

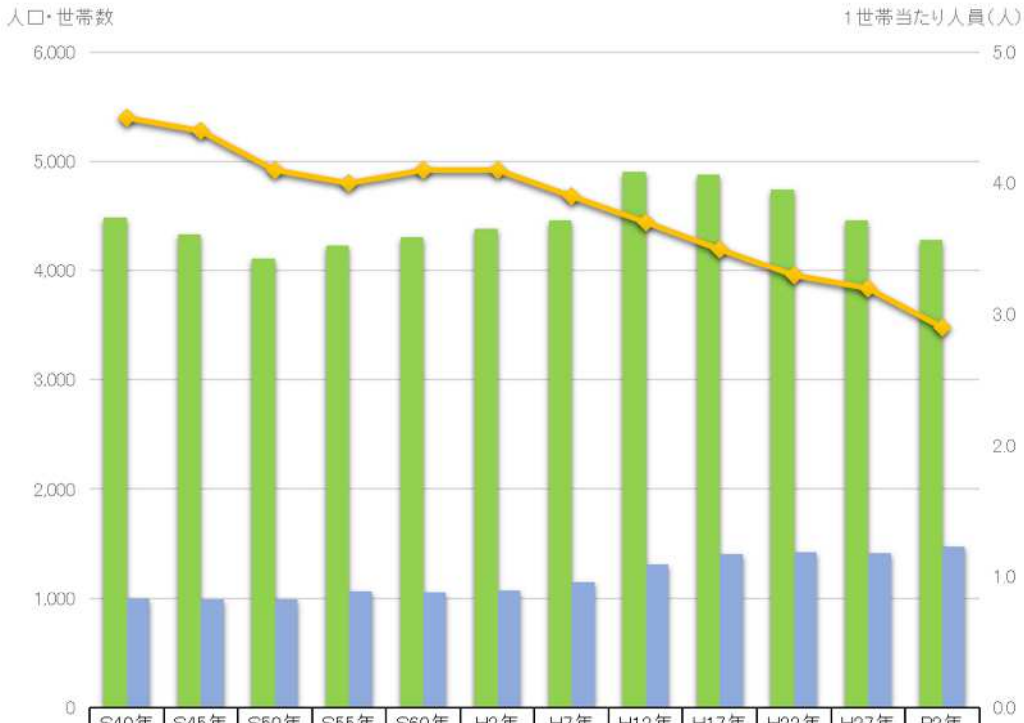
国勢調査による本村の人口・世帯数の推移をみると、昭和 40 年の人口 4,490 人で、その後昭和 50 年まで減少しましたが、昭和 55 年から増加し始め、平成 12 年には 4,908 人と、昭和 40 年から 418 人増加しました。

その後、人口の減少は続いており、令和２年の人口は 4,279 人で、ピーク時より約 600 人減少しています。

世帯数は、昭和 40 年の 994 世帯に対し、令和２年は 1,474 世帯となっており、ほぼ一貫して増加しています。

また、1 世帯あたりの人員は、昭和 40 年の 4.5 人から年々減少し、令和２年は 2.9 人となっており、小世帯化が進行しています。

◆図表 3-1 人口・世帯数の推移



	S40年(1965)	S45年(1970)	S50年(1975)	S55年(1980)	S60年(1985)	H2年(1990)	H7年(1995)	H12年(2000)	H17年(2005)	H22年(2010)	H27年(2015)	R2年(2020)
人口（人）	4,490	4,332	4,111	4,228	4,309	4,381	4,459	4,908	4,875	4,741	4,462	4,279
世帯数（世帯）	994	989	991	1,068	1,056	1,077	1,149	1,316	1,406	1,422	1,412	1,474
1世帯当たり人員	4.5	4.4	4.1	4.0	4.1	4.1	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2	2.9

●朝日村の将来目標人口（朝日村第６次総合計画後期基本計画）

国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口では、本村は急激な人口減少・少子高齢化が予測されていることから、少子高齢化の進行に的確に対応し、人口減少に歯止めをかける施策・取組が求められています。

こうしたことから、出産・子育てがしやすい環境づくり、宅地開発等の居住基盤の整備、村内の雇用確保等将来像の実現に向けた各施策に取り組み、村の魅力づくり・人づくり・地域づくりを展開していきます。

2060 年の朝日村「チャレンジ目標人口」

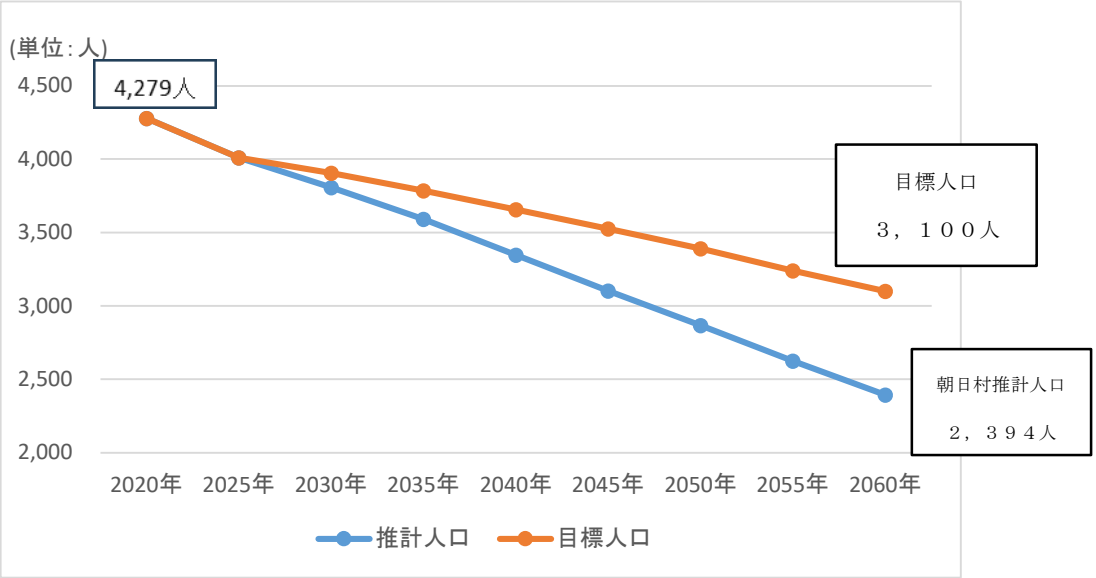
３，１００人

チャレンジ目標人口達成に向けた設定

○　合計特殊出生率：2025 年 1.48 → 2040 年 2.07 に上昇

○　社　会　増　減：年間４～５人の社会増の水準に上昇

◆図表 3-2 将来目標（推計）人口



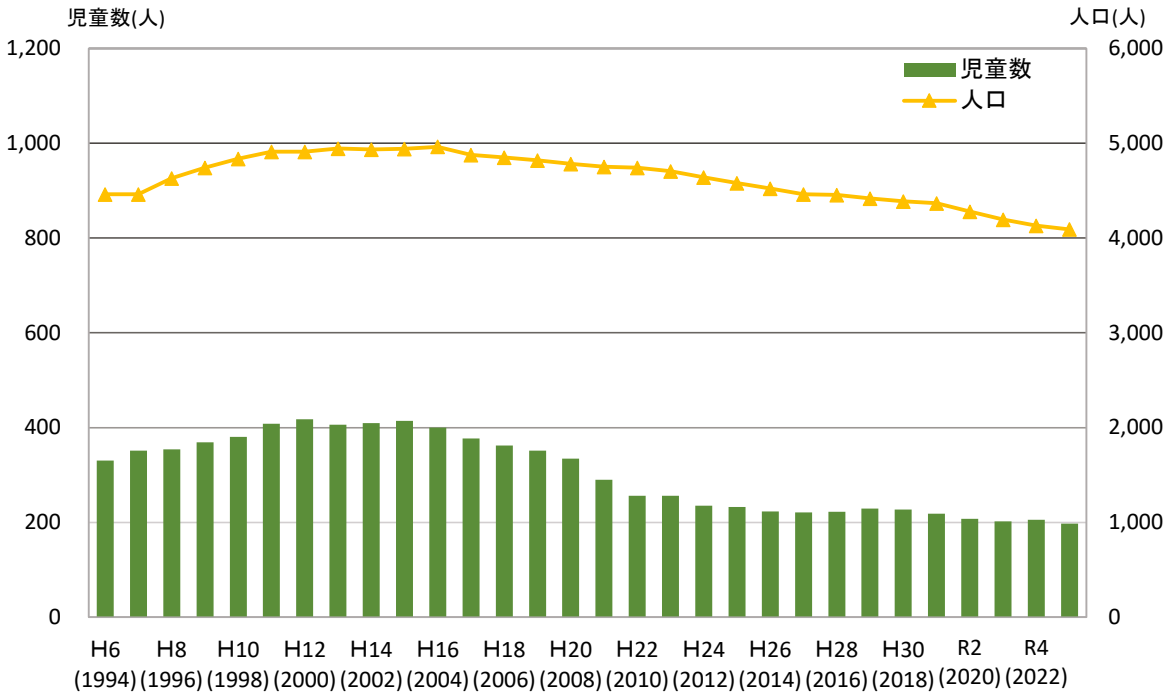
２ 児童数の推移

平成６年以降の小学校の児童数の推移をみると、平成６年から平成 15 年までは緩やかに増加し、平成 16 年から平成 24 年までは減少しました。平成 25 年から平成 30 年までは 220 人から 230 人台で推移し、その後減少し、令和５年に初めて 200 人を下回りました。

学級数は、ほぼ横ばいで推移しています。

人口との関係をみると、平成６年は人口 4,460 人に対して児童は 330 人、令和５年は人口 4,092 人に対して児童は 197 人と、児童数が減少し始めた平成 16 年以降、少子化の進展が見られます。

◆図表 3-3 児童数の推移



◆図表 3-4 直近の児童数・学級数の推移

		H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
朝日小学校	学級数	10	10	11	11	11	10	10	10	9	10
	児童数	223人	221人	222人	229人	227人	218人	207人	202人	205人	197人

３ 公共施設の保有と配置状況

（１）施設類型別の延床面積

本計画対象の公共施設の延床面積総量は 27,761.74 ㎡、棟数は 112 棟です。

内訳は、学校教育系施設が 25.1％と最も多く、次いでｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設の 22.4％、行政系施設の 13.4％の順となっており、この 3 分類で全体の約 6 割を占めています。

また、築年数（図表 3-6 及び図表 3-7）をみると、築 30 年以上の建物の延床面積が 17,780.72 ㎡で、全体の 64.0％を占めています。築 30 年以上の建物のうち、学校教育施設系施設が最も多く 5,900.00 ㎡で 33.2％、ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設が 5,243.28 ㎡で 29.5％となっており 2 類系で 62.7％になります。

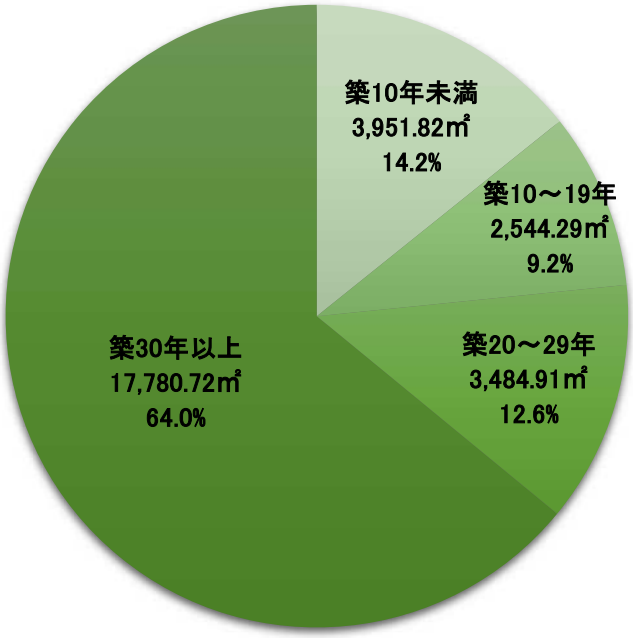
村民一人当たり（令和２年国勢調査人口）の延床面積は、6.49 ㎡となっています。

◆図表 3-5 施設類型別の延床面積

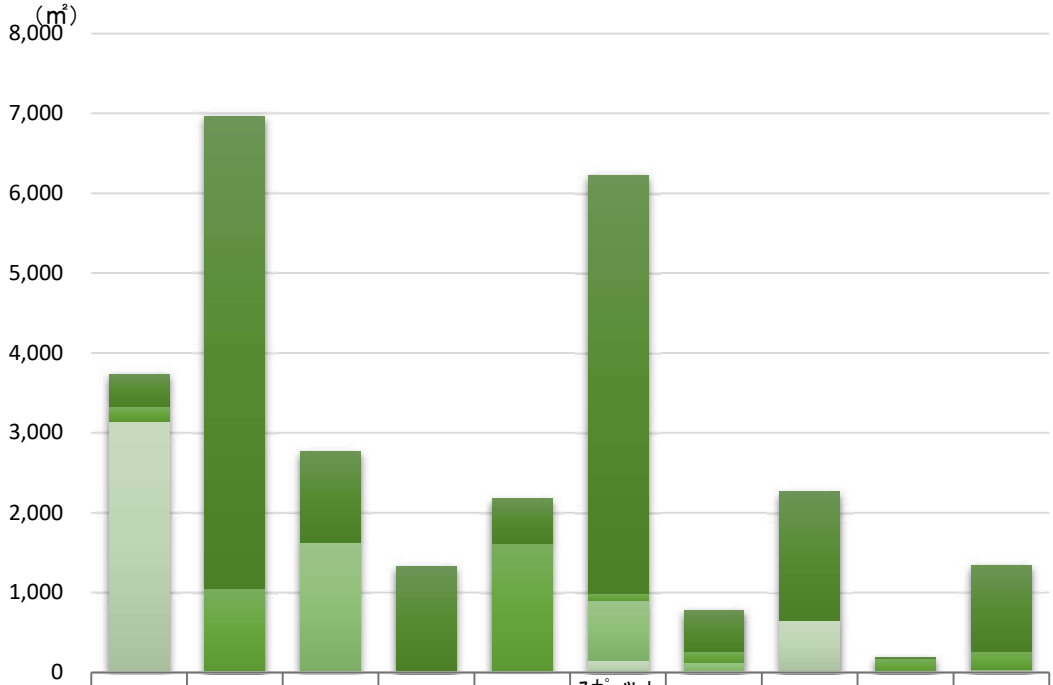
施設類型	施設数	延床面積	構成比
行政系	17	3,733.10㎡	13.4%
学校教育系	13	6,959.00㎡	25.1%
子育て支援	5	2,766.14㎡	10.0%
村民文化系	1	1,322.67㎡	4.8%
社会教育系	8	2,178.33㎡	7.8%
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	39	6,229.84㎡	22.4%
産業系	6	780.66㎡	2.8%
保健・福祉	5	2,261.65㎡	8.1%
公園	2	190.23㎡	0.7%
その他	16	1,340.12㎡	4.8%
合計	112	27,761.74㎡	100.0%

※数字の単位未満は、四捨五入のため総数と内容の計が一致しない場合があります。

◆図表 3-6 築年数別の延床面積



◆図表 3-7 施設類型別の築年数別延床面積



	行政系	学校教育系	子育て支援	村民文化系	社会教育系	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	産業系	保健・福祉	公園	その他
築30年以上	408.00㎡	5,900.00㎡	1,135.00㎡	1,322.67㎡	557.53㎡	5,243.28㎡	516.27㎡	1,603.53㎡	17.98㎡	1,076.46㎡
築20～29年	177.88㎡	1,059.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	1,620.80㎡	88.19㎡	140.73㎡	0.00㎡	172.25㎡	226.06㎡
築10～19年	0.00㎡	0.00㎡	1,631.14㎡	0.00㎡	0.00㎡	751.89㎡	123.66㎡	0.00㎡	0.00㎡	37.60㎡
築10年未満	3147.22	0	0	0	0	146.48	0	658.12	0	0

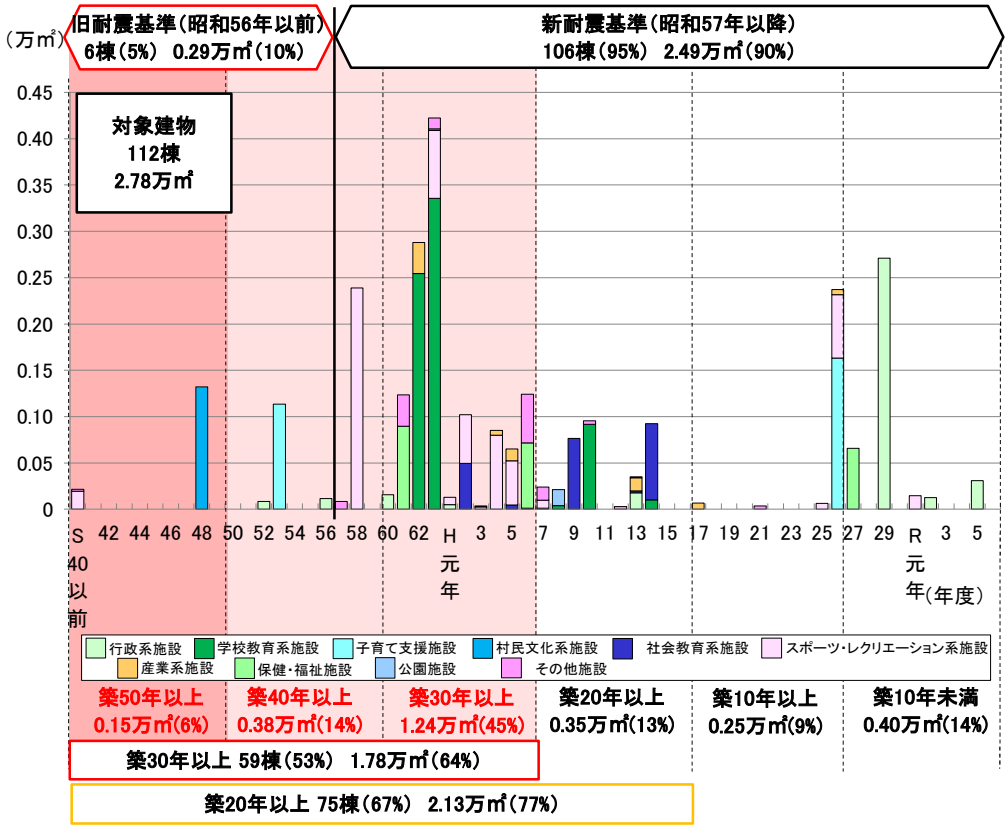
（２）築年別整備状況

建築年次別の整備状況は下図に示すとおりです。

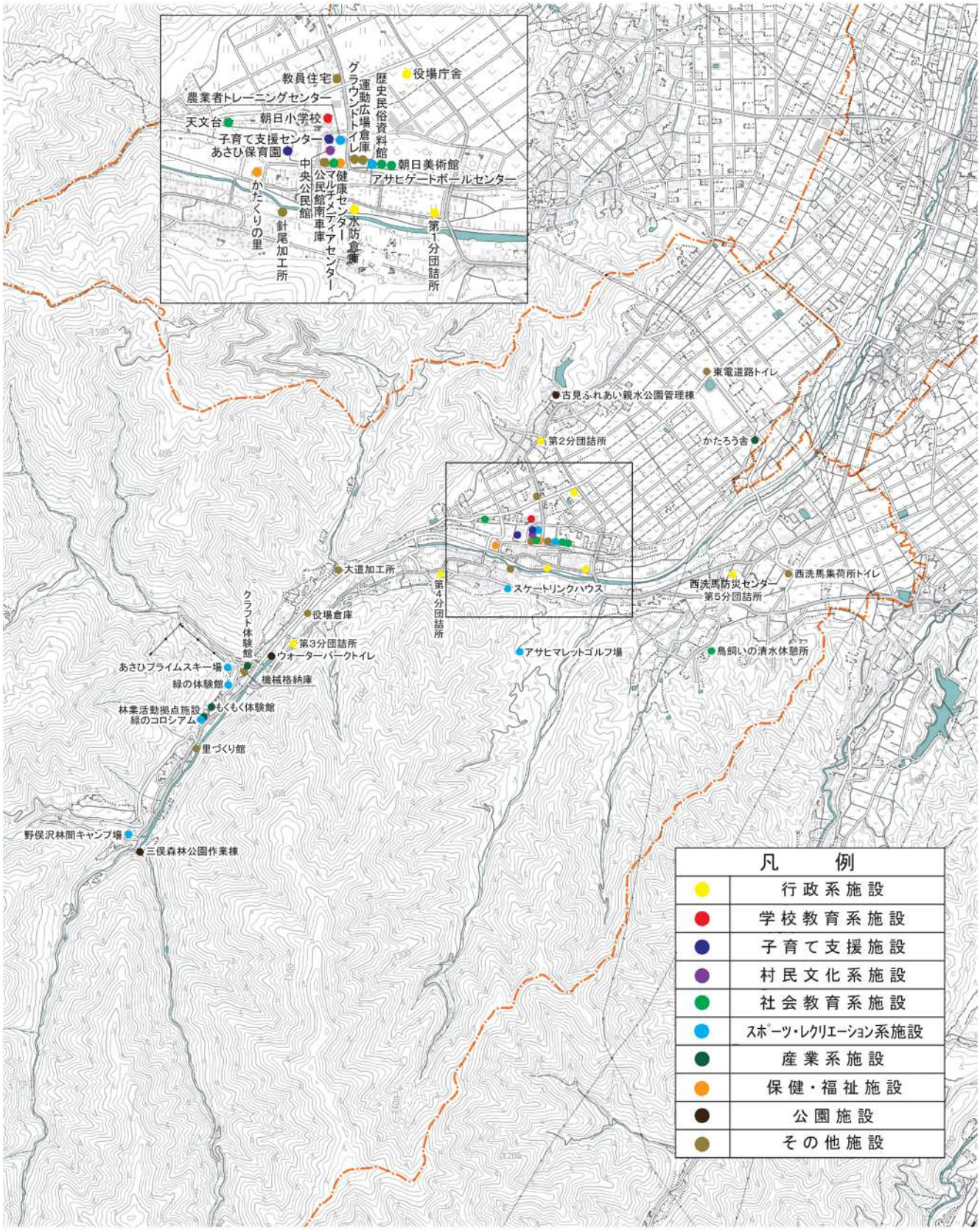
新耐震基準により建築された建物は延床面積で全体の 90%（棟数では 95%）で、残りの延床面積 10%（棟数では 6%）が、昭和 56 年以前の旧耐震基準により建築された建物です。

築年数では、築後 20 年以上の建物が全体の延床面積で 77%（棟数では 67%）あり、大規模改修など老朽化への対応、耐震性など安全性を高める改修工事など、建物の適切な修繕や改修が必要になります。

◆図表 3-8 築年別整備状況



◆図表 3-9 公共施設配置図



4 施設関連経費の推移

令和元年度～令和５年度の５年間の公共施設（公営住宅、上下水道施設を除く）の施設関連経費は、約１億４千万円～５億９千万円で、５年間の平均は約２億９千万円となります。

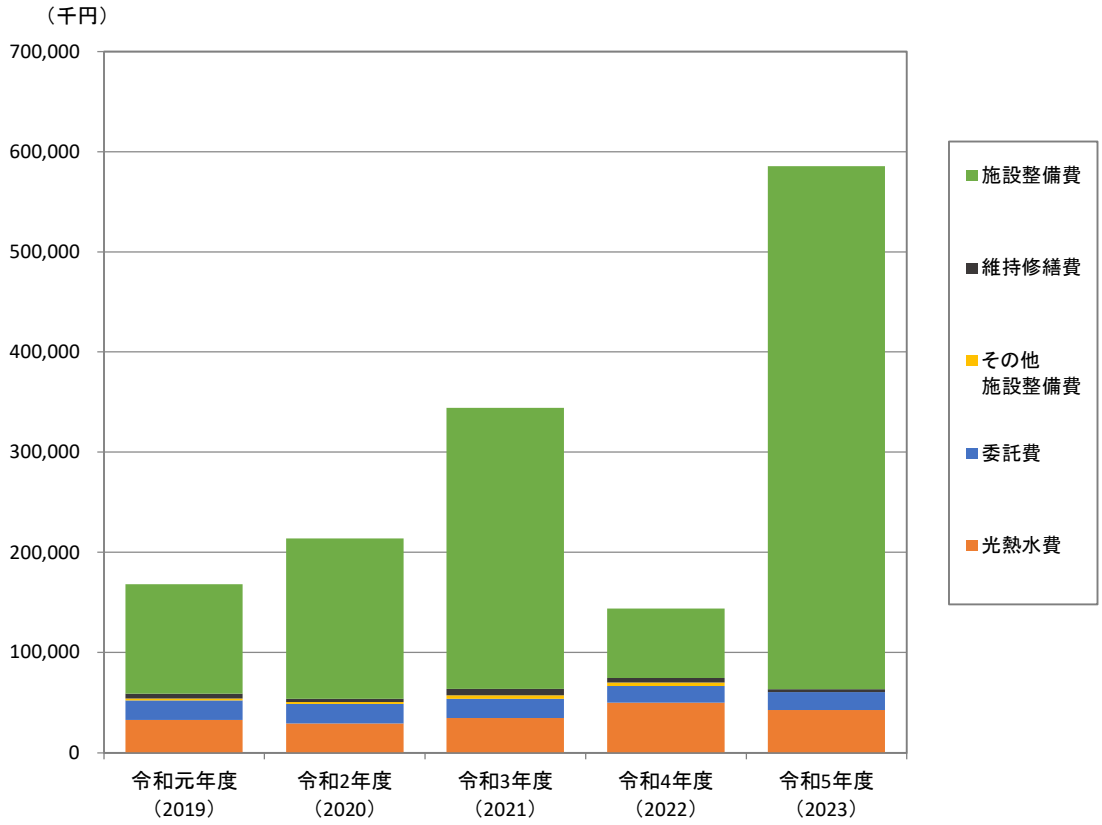
令和５年度は、朝日小学校や農業者トレーニングセンターにおいて、長寿命化改修を実施しています。

◆図表 3-10 施設関連経費の推移表

単位：円

関連経費区分	令和元年度（2019）	令和2年度（2020）	令和3年度（2021）	令和4年度（2022）	令和5年度（2023）	平均
施設整備費	109,464,100	159,847,768	280,646,495	69,453,560	522,421,121	228,366,609
維持修繕費	4,573,016	3,100,600	6,554,505	4,571,084	2,919,455	4,343,732
その他施設整備費	1,834,938	1,889,108	3,301,265	3,450,940	0	2,095,250
委託費	19,724,920	19,412,543	19,115,067	16,534,332	17,580,995	18,473,571
光熱水費	32,520,160	29,305,476	34,642,571	49,861,911	42,653,467	37,796,717
合計	168,117,134	213,555,495	344,259,903	143,871,827	585,575,038	291,075,879

◆図表 3-11 施設関連経費の推移



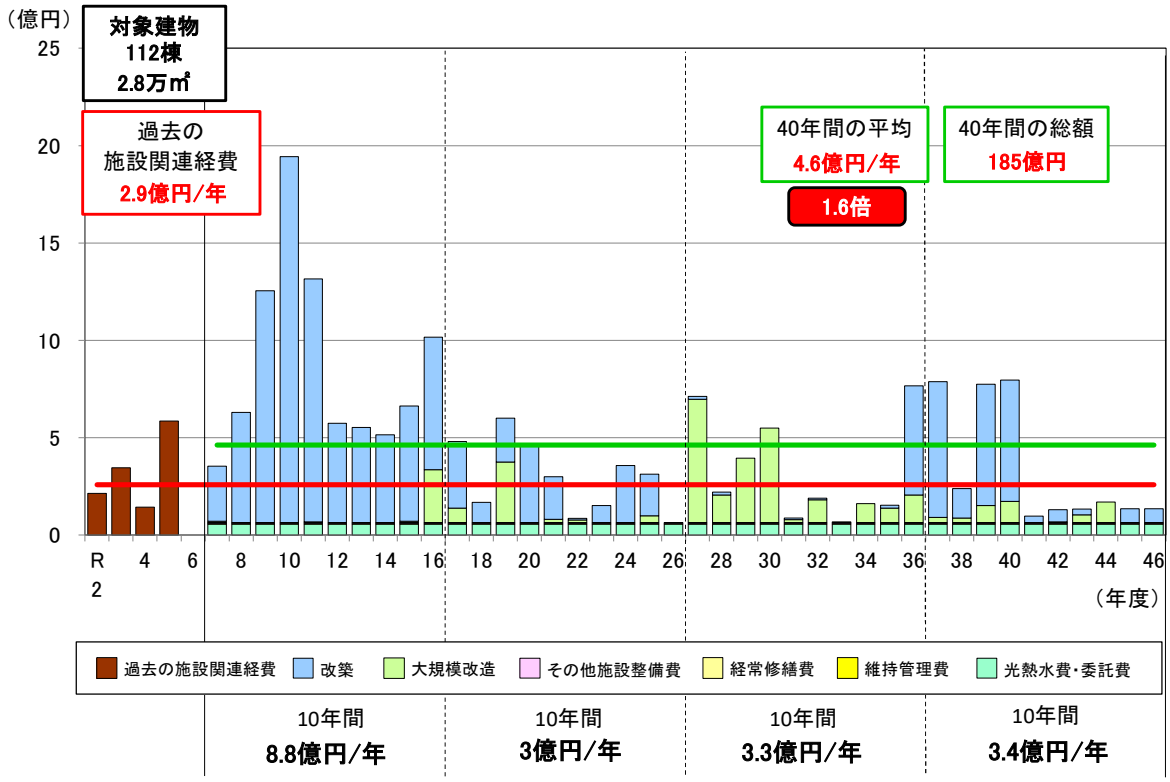
5 今後の維持・更新コスト（従来型）

公共施設において、従来どおり建設後 40 年前後で改築を行った場合、今後 40 年間のコストは 185 億円（4.6 億円/年）かかると試算されます。

過去５年間の施設関連経費の平均は約 2.9 億円/年となり、現状と比較し約 1.6 倍の経費が必要となります。

このため更新時期の集中回避と、人口減少や少子高齢化に伴う利用需要の変化を見込んだ対応策を検討する必要があります。

◆図表 3-12 今後の維持・更新コスト（従来型）



コスト算出条件（従来型）

物価変動率、落札率は考慮しない。

基 準 年 度：2024 年（試算期間：基準年の翌年度から 40 年間）

改　　築：更新周期 40 年、工事期間 2 年

なお、築年数が 40 年超の施設は、基準年度の翌年度から 10 年間に改築費を按分し、計上している。

改 築 単 価：460,000 円／㎡

（総務省公共施設更新費用試算ソフト「分類別更新単価」の平均に物価変動を考慮）

大規模改造：実施年数 20 年周期、工事期間 1 年

第４章 公共施設の実態調査

１ 構造躯体の健全性の把握

本計画策定段階においては、今後の維持・更新コストの試算における区分を「試算上の区分」として設定しています。構造や耐震基準、履歴調査、現地調査等の結果を基に、「長寿命化」と「改築」に選別しています。(図表 4-1)

工事実施段階においては、躯体の詳細な調査結果(ｺﾝｸﾘｰﾄ圧縮強度等)、及び施設の重要性や利用状況等の観点から総合的に検討した上で「長寿命化」または「改築」を最終的に判断していくことになります。

◆図表 4-1 試算上の区分

構造	耐震基準	耐震補強等	試算上の区分	備考
ＲＣ ＳＲＣ Ｓ	新	－	長寿命	
	旧	済み	長寿命	
		未	改築	耐震補強又は使用不可
ＣＢ Ｗ	新	－	長寿命	
	旧	済み	長寿命	
		未	改築	耐震補強又は使用不可
ＬＧＳ	－	－	改築	

※ RC 造の場合は、コンクリート圧縮強度 13.5N/㎟以下のもの、S 造の場合は、おおむね 40 年以上で腐食や劣化の進行が著しいもの、またはこれらの状況が不明な場合は「要調査」となる。

■構造

ＲＣ：鉄筋コンクリート造
ＳＲＣ：鉄骨鉄筋コンクリート造
Ｓ：鉄骨造
ＣＢ：コンクリートブロック造
Ｗ：木造（小規模建物等含む）
ＬＧＳ：軽量鉄骨造

■耐震基準

新耐震基準：1981（昭和 56）年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準をいう。

旧耐震基準：その前日まで適用されていた基準をいう。

２ 劣化状況の評価方法

建物の劣化状況を分析・評価し、長寿命化に必要なコストと保全の優先順位を設定するため、以下のように評価を行い、総合劣化度を算出しました。

①評価基準

下表のとおり評価基準をＡ～Ｄの４段階としました。

評価	劣化状況の評価基準	評価点
Ａ評価	概ね良好	10 点
Ｂ評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	40 点
Ｃ評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	70 点
Ｄ評価	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	100 点

②部位の重要度係数

部位により建築物の安全性又は機能性に及ぼす影響が異なることから、財団法人建築保全センター発行の「ライフサイクルコストデータベース（H17 版）」の分類を参考とし、部位の重要度係数を以下の３段階で定めました。

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部位（躯体、屋上、外壁）	1.00
中	計画保全が望ましい部位（外部開口部、電気、機械）	0.50
小	事後保全で良い部位（内部、給排水、その他外部ほか）	0.25

③現況劣化度

$$\text{現況劣化度} = \frac{\text{総和（各部位の劣化状況評価点×部位の重要度係数）}}{\text{評価の対象部位数}}$$

④総合劣化度

総合劣化度 ＝ 現況劣化度 ＋ 築年数

※但し、当該建物に大規模改修履歴がある場合は、15 点減じています。
点数が大きいほど、建物の劣化が進んでいることになります。

⑤現況劣化度の推測方法

劣化状況調査を実施しない建物については、築年数により劣化度を推測して、現況劣化度、総合劣化度を算出しました。推測した総合劣化度は、（ ）書きで表示しています。

3 劣化状況評価結果

公共施設の劣化状況評価の結果及び構造・築年数を基に分析・評価を行い、劣化度を算出し、今後の個別施設計画における優先順位付け等の基礎資料とします。

結果は、図表 4-2 建物状況一覧表のとおりです。

なお、計画の改訂に当たって、劣化状況調査を実施していないため、「劣化状況評価欄」の評価は平成 30 年に実施した結果を記載しています。

推定劣化度を算出した建物の中では、ゲストハウス（体験館）、運動広場倉庫、交流拠点施設物置の総合劣化度が高くなっています。

◆図表 4-2-1 建物状況一覧表

：築50年以上　：築30年以上　基準 2024

A：概ね良好　B：部分的に劣化　C：広範囲に劣化　D：早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性						劣化状況評価							
						建築年度			耐震安全性			長寿命化判定										
通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現況劣化度	総合劣化度	大規模改修年度等
1	役場庁舎	役場庁舎	W	2	2,245	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
2	公用車車庫	公用車車庫A	LGS	1	70	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
3	公用車車庫	公用車車庫B	LGS	1	89	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
4	公用車車庫	公用車車庫C	LGS	1	70	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
5	公用車車庫	公用車車庫D	LGS	1	85	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
6	公用車車庫	公用車車庫E	LGS	1	85	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
7	公用車車庫	公用車車庫F	LGS	1	39	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
8	職員用器具庫	職員用器具庫	LGS	1	21	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
9	喫煙所	喫煙所	LGS	1	6	2017	H29	7	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(33)	
10	消防詰所	第1分団詰所	S	2	178	2001	H13	23	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(49)	
11	消防詰所	第2分団詰所	W	1	115	1981	S56	43	旧		済			改築	－	－	－	－	－	－	(93)	H20
12	消防詰所	第3分団詰所	W	2	84	1977	S52	47	旧		済			改築	－	－	－	－	－	－	(97)	H22
13	消防詰所	第4分団詰所	W	2	159	1985	S60	39	新		済			長寿命	－	－	－	－	－	－	(70)	H21
15	消防詰所	第5分団詰所	S	2	128	2020	R2	4	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(11)	
16	消防詰所	水防倉庫	LGS	1	50	1989	H1	35	新					改築	－	－	－	－	－	－	(81)	
17	朝日小学校	普通教室棟	RC	2	2,237	1987	S62	37	新		済			長寿命	B	B	B	B	B	26	33	H26R5
18	朝日小学校	特殊学級	S	1	102	2002	H14	22	新					長寿命	B	A	A	B	B	19	41	
19	朝日小学校	特別教室棟	RC	2	1,986	1988	S63	36	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	62	
20	朝日小学校	昇降口棟	RC	1	251	1988	S63	36	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	62	
21	朝日小学校	粘土焼成室	S	1	24	1988	S63	36	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
22	朝日小学校	給食棟	RC	1	183	1987	S62	37	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	63	
23	朝日小学校	プロパン庫	CB	1	9	1987	S62	37	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(83)	
24	朝日小学校	倉庫1	CB	1	54	1987	S62	37	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(83)	

劣化状況評価欄に記載の「A」から「C」の評価は平成 30 年に実施した現地調査の結果を示す。
「－」は、調査に該当しない項目又は目視だけでは現地調査が実施できなかった箇所を示す。

◆図表 4-2-2 建物状況一覧表

：築50年以上　：築30年以上　基準 2024

A：概ね良好　B：部分的に劣化　C：広範囲に劣化　D：早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性						劣化状況評価							
						建築年度			耐震安全性			長寿命化判定										
通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/㎟)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現況劣化度	総合劣化度	大規模改修年度等
25	朝日小学校	倉庫2	CB	1	30	1988	S63	36	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
26	朝日小学校	アリーナ	RC	1	1,066	1988	S63	36	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	62	
27	朝日小学校	障害者トイレ	S	2	41	1996	H8	28	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(54)	
28	朝日小学校	小学校プール	W	1	916	1998	H10	26	新					長寿命	B	C	B	B	B	32	43	R5
29	朝日小学校	倉庫3	CB	1	60	1987	S62	37	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(83)	
30	子育て支援センター	子育て支援センター	RC	2	1,135	1978	S53	46	旧	済	済			長寿命	C	C	C	B	B	40	71	H20
31	あさひ保育園	園舎	W	1	1,396	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
32	あさひ保育園	プール棟	S	1	138	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
33	あさひ保育園	あいさつ広場	S	1	88	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
34	あさひ保育園	備蓄倉庫	RC	1	9	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
35	中央公民館	中央公民館	RC	3	1,323	1973	S48	51	旧		済			長寿命	B	C	B	B	B	32	68	H11
36	マルチメディアセンター・健康センター	AYTマルチメディアセンター	RC	2	766	1997	H9	27	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	53	
37	鳥飼いの清水休憩所	鳥飼いの清水休憩所（茶室）	W	1	44	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
38	鳥飼いの清水休憩所	便所	W	1	6	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
39	朝日美術館	朝日美術館	RC	1	822	2002	H14	22	新					長寿命	B	A	A	B	B	19	41	
40	朝日美術館	歴史民俗資料館	RC	1	497	1990	H2	34	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	60	
41	朝日美術館	便所	W	1	20	2001	H13	23	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(49)	
42	陶芸施設	陶芸施設	RC	1	13	1995	H7	29	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(55)	
43	天文台	天文台	RC	1	11	1994	H6	30	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(76)	
44	緑のコロシアム	管理棟	W	1	43	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
45	緑のコロシアム	野外音楽堂楽屋	W	1	18	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
46	あさひプライムスキー場	カルテットホール	W	1	572	1992	H4	32	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(78)	
47	あさひプライムスキー場	休憩所ノエル	W	2	233	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
48	あさひプライムスキー場	機械室1	LGS	1	118	1992	H4	32	新					改築	－	－	－	－	－	－	(78)	
49	あさひプライムスキー場	機械室2	LGS	1	41	1992	H4	32	新					改築	－	－	－	－	－	－	(78)	
50	あさひプライムスキー場	機械室3	LGS	1	70	1992	H4	32	新					改築	－	－	－	－	－	－	(78)	
51	あさひプライムスキー場	第1ペアリフト運転室	W	1	10	1991	H3	33	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(79)	
52	あさひプライムスキー場	第1ペアリフト監視室	W	1	3	1991	H3	33	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(79)	
53	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト運転室	W	1	10	1991	H3	33	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(79)	
54	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト監視室	W	1	3	1991	H3	33	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(79)	
55	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト中間監視室	W	1	3	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	

劣化状況評価欄に記載の「A」から「C」の評価は平成 30 年に実施した現地調査の結果を示す。

「-」は、調査に該当しない項目又は目視だけでは現地調査が実施できなかった箇所を示す。

◆図表 4-2-3 建物状況一覧表

:築50年以上　:築30年以上　基準 2024

A :概ね良好　B :部分的に劣化　C :広範囲に劣化　D :早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性						劣化状況評価							
通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度 西暦	建築年度 和暦	築年数	耐震安全性 基準	耐震安全性 診断	耐震安全性 補強	長寿命化判定 調査年度	長寿命化判定 圧縮強度(N/㎟)	長寿命化判定 試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現況劣化度	総合劣化度	大規模改修年度等
56	緑の体験館	緑の体験館	RC	2	708	1988	S63	36	新		済			長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
57	緑の体験館	便所	W	1	23	1988	S63	36	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
58	緑の体験館	コテージ1	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
59	緑の体験館	コテージ2	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
60	緑の体験館	コテージ3	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
61	緑の体験館	コテージ4	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
62	緑の体験館	コテージ5	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
63	緑の体験館	コテージ6	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
64	緑の体験館	コテージ7	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
65	緑の体験館	コテージ8	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
66	緑の体験館	コテージ9	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
67	緑の体験館	コテージ10	W	1	60	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
68	アサヒマレットゴルフ場	管理棟	W	1	65	1989	H1	35	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(81)	
69	アサヒマレットゴルフ場	トイレ棟	W	1	15	1989	H1	35	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(81)	
70	野俣沢林間キャンプ場	野俣沢林間キャンプ場管理棟	W	1	116	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
71	野俣沢林間キャンプ場	便所	W	1	59	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
72	野俣沢林間キャンプ場	炊事場	W	1	29	1995	H7	29	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(55)	
73	野俣沢林間キャンプ場	便所（上）	W	1	59	1995	H7	29	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(55)	
74	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー1	W	1	28	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
75	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー2	W	1	28	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
76	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー3	W	1	28	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
77	体育館	農業者トレーニングセンター	RC	2	2,391	1983	S58	41	新		済			長寿命	B	B	B	B	B	26	52	H27
78	ゲートボール場	アサヒゲートボールセンター	W	1	524	1990	H2	34	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(80)	
79	朝日村ローラースケート場及びアイススケート場	スケートリンクハウス	W	1	65	2013	H25	11	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(22)	R5
81	ゲストハウス	ゲストハウス	W	2	146	2019	H31	5	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(31)	
82	ゲストハウス	ゲストハウス（体験棟）	W	2	197	1919	T8	105	旧					改築	－	－	－	－	－	－	(170)	
84	林業活動拠点施設	林業活動拠点施設	W	1	53	1992	H4	32	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(78)	
85	もくもく体験館	もくもく体験館	W	1	127	1993	H5	31	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(77)	
86	もくもく体験館	ストックハウス	W	1	55	2014	H26	10	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(36)	
87	クラフト体験館	クラフト体験館	W	1	337	1987	S62	37	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(83)	
88	かたろう舎	かたろう舎	W	1	141	2001	H13	23	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(49)	
89	三俣森林公園作業棟	三俣森林公園作業棟	W	1	69	2005	H17	19	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(45)	

劣化状況評価欄に記載の「A」から「C」の評価は平成 30 年に実施した現地調査の結果を示す。
「-」は、調査に該当しない項目又は目視だけでは現地調査が実施できなかった箇所を示す。

◆図表 4-2-4 建物状況一覧表

：築50年以上　：築30年以上　基準 2024

A ：概ね良好　B ：部分的に劣化　C ：広範囲に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性						劣化状況評価								
						建築年度			耐震安全性			長寿命化判定											
通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現況劣化度	総合劣化度	大規模改修年度等
90	マルチメディアセンター・健康センター	健康センター	RC	2	896	1986	S61	38	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	64	
91	かたくりの里	地域交流多目的センター えべや かたくりの里	RC	1	708	1994	H6	30	新					長寿命	B	B	A	B	B	25	55	
92	かたくりの里	デイサービスセンター かたくりの里	S	1	581	2015	H27	9	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(35)	
93	かたくりの里	駐車場棟	S	1	67	2015	H27	9	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(35)	
94	かたくりの里	除雪車車庫棟	S	1	10	2015	H27	9	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(35)	
96	古見ふれあい親水公園管理棟	古見ふれあい広場親水公園管理棟	W	1	172	1996	H8	28	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(54)	
97	ウォーターパークトイレ	ウォーターパークトイレ	W	1	18	1988	S63	36	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
99	役場書庫	役場倉庫	S	1	117	1986	S61	38	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(84)	
100	旧消防指揮車車庫	旧消防指揮車車庫	LGS	1	38	2009	H21	15	新					改築	－	－	－	－	－	－	(41)	
101	下古見トイレ	下古見トイレ	W	1	12	1991	H3	33	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(79)	
102	東電道路トイレ	東電道路トイレ	W	1	15	1994	H6	30	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(76)	
103	西洗馬集荷所トイレ	西洗馬集荷所トイレ	W	1	14	2001	H13	23	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(49)	
104	機械格納庫	機械格納庫	LGS	1	117	1994	H6	30	新					改築	－	－	－	－	－	－	(76)	
105	機械保管倉庫	機械保管倉庫	LGS	1	42	1994	H6	30	新					改築	－	－	－	－	－	－	(76)	
106	公民館南車庫	公民館南車庫	W	1	117	1988	S63	36	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(82)	
107	グラウンド公衆トイレ	運動広場グラウンドトイレ	W	1	40	1998	H10	26	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(52)	
108	朝日小学校	教員住宅	W	1	167	1986	S61	38	新					長寿命	C	C	B	C	C	44	82	
109	運動広場倉庫	運動広場倉庫	LGS	1	85	1982	S57	42	新					改築	－	－	－	－	－	－	(107)	
110	里づくり館	里づくり館	RC	1	104	1994	H6	30	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(76)	
111	針尾加工所	針尾加工所	W	1	245	1994	H6	30	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(76)	
112	大道加工所	大道加工所	W	1	140	1995	H7	29	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(55)	
113	旧役場庁舎	便所	W	1	32	2000	H12	24	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(50)	
114	旧農産加工施設	旧農産加工施設	W	1	55	1986	S61	38	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(84)	
115	西洗馬防災センター	西洗馬防災センター	S	1	270	2023	R5	1	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(8)	
116	西洗馬防災センター	防災倉庫	S	1	40	2023	R5	1	新					長寿命	－	－	－	－	－	－	(8)	
118	交流拠点施設	物置	W		20	1919	T8	105	旧					改築	－	－	－	－	－	－	(170)	

劣化状況評価欄に記載の「A」から「C」の評価は平成 30 年に実施した現地調査の結果を示す。

「－」は、調査に該当しない項目又は目視だけでは現地調査が実施できなかった箇所を示す。

第５章 適正な配置と数量の適正化に関する基本方針等

村民一人ひとりがむらづくりの主体となるために必要な公共施設について、長期的視野に立って村の継続的経営も考慮しながら、**『サービスとコストの調和のとれた、安心して利用できる公共施設』**を目指します。

１ 総資産量適正化（適正配置）の方向性の検討

本村が保有する公共施設は、役割ごと複数の施設があることは少なく、小学校や保育園など代替え施設の無い建物がほとんどのため、統合や廃止は困難な状況です。

今後も住民の住み良さの実現に向けて、サービスの低下を招くことのないよう、それぞれの公共施設のあり方を十分に検討し、今ある施設を有効に活用することを前提に、適正な配置と規模の検討を行うこととします。

２ 総資産量適正化の方向性の基本的な考え方

（１） 機能面と建物自体の状況を勘案して、適正配置の方向性を検討します。

（２） 施設の利用状況等から今後の姿をイメージして適正規模の検討や存続・廃止の検討を行います。

（３） 公共施設の更新や大規模改修の実施時期に合わせ、施設の適正規模の検討や存続・廃止の検討、周辺に位置する施設の集約化や複合化を検討し、機能維持を図りながら施設総量の縮減や規模の適正化を目指します。

（４） 大規模な公共施設は本村の「顔」となる施設であり、次世代へと引き継がれる建物となるため、十分な配慮のもと、計画的な建替え、改修を行います。

（５） 公共施設の安全確保のため、老朽化した施設については、各施設の重要性や利用状況を十分考慮したうえで、優先的に整備するよう努めます。

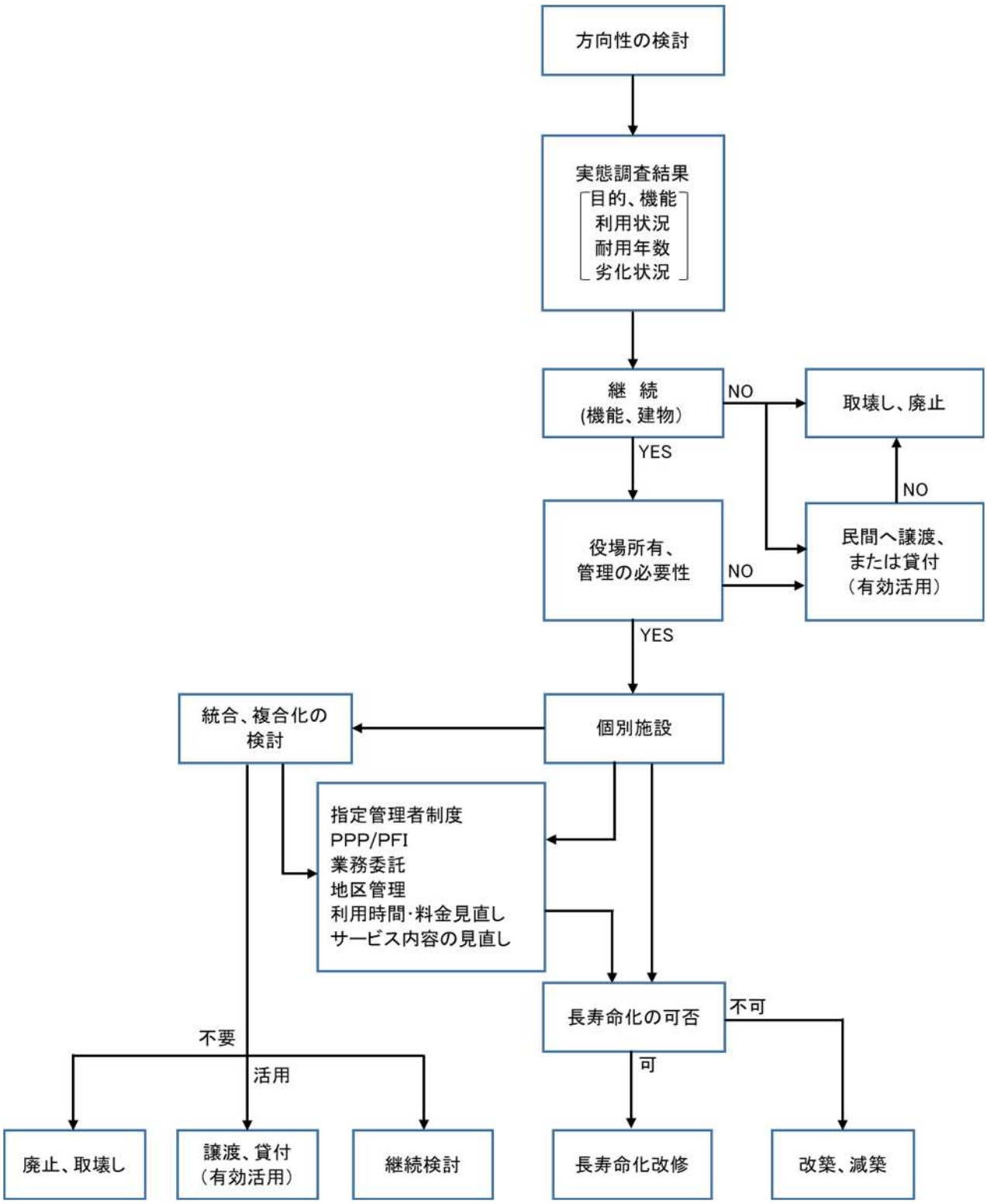
（６） 統合・廃止により余剰となった施設については、取り壊しを行い、安全や景観の確保及び維持管理費の削減を図ります。

（７） 民間企業のもつノウハウや資金を積極的に導入するなど、施設の整備や管理における官民の役割分担の適正化を図り、財政負担の軽減とサービス水準の向上を図ります。

3 今後の方向性の考え方

今後の方向性を考えるにあたっては、下表のフローをもとに検討します。

◆図表 5-1 今後の方向性検討フロー



４ 今後の方向性の定義

ソフト（建物の機能）とハード（建物）の両面から、個別施設について今後の方向性を検討し、下表のとおり整理します。

◆5-2　今後の方向性の定義表

区　分	方向性	内　　容
機能	継続	機能を現状のまま継続する
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	統合	別々の用途を有する施設を一つの建物に集める
	移転	集約・統合・建物移転により、機能を移転させる
	転用	現用途を廃止し、他用途への転用を行う
	廃止	施設(建物)の現用途の廃止を行う
	検討継続	将来の施設の整備方針を継続検討する
建物	継続	建物を現状のまま継続する
	改築	建物を建て替える
	譲渡	建物を「無償」または「有償」で民間に譲渡する
	貸付	建物を「無償」または「有償」で民間に貸付ける
	改修	建物の大・中規模改修を行う
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	複合	別々の用途の施設を一つの建物に集める
	移転	移転して建て替える
	減築	建物を改築する際に床面積を減らす
	取壊し	用途廃止した施設の建物を解体する
	検討継続	将来の建物の整備方針を継続検討する

５ 学校施設の目指すべき姿

少子化等の影響により小学校の児童数は、減少傾向にあります。

人口減少社会において、未来を担う人材を育てる教育の重要性が高まっています。

学校施設（小学校）は、施設の長寿命化だけでなく、将来の人口や社会動向の変化に対応することを見据えた学校施設の目指すべき姿を検討する必要があります。

■朝日村第６次総合計画後期基本計画

【主要施策】未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います

豊かな自然に恵まれた中で、子どもたちの心身の健全な発達や自ら学び、考え、解決するための学力・能力の向上のための取組を進めるとともに、社会の大きな変化に対応していくために必要な様々な力を養います。また、将来、本村で活躍することができる人材となるよう、郷土愛を育む教育を行います。

文部科学省の「学校施設整備基本構想の在り方について」において示された「安全性」、「快適性」、「学習活動への適応性」、「環境への適応性」、「地域の拠点化」の観点から、次のとおりとします。

（１）安全な学校施設

①地震に強い学校施設（新耐震基準適合、非構造部材耐震化工事終了）

②防災機能を備えた学校施設

③防犯・事故対策機能を備えた安全で安心な学校施設

（２）快適性

①快適な学習環境

・エアコンの設置、トイレ改修、ＬＥＤ化など

②子育て支援（子育て支援センター「わくわく館」）

③教職員に配慮した環境

（３）学習活動への適応性

①効果的・効率的な施設整備（ＩＣＴ環境など）

②地域で育てる教育の推進

③食育の推進（食育推進計画）

（４）環境への適応性

①地球環境を考慮したエコスクール

（５）地域の拠点化

①地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設

②学校、家庭、地域のネットワーク形成の拠点

③地域の生涯学習の拠点

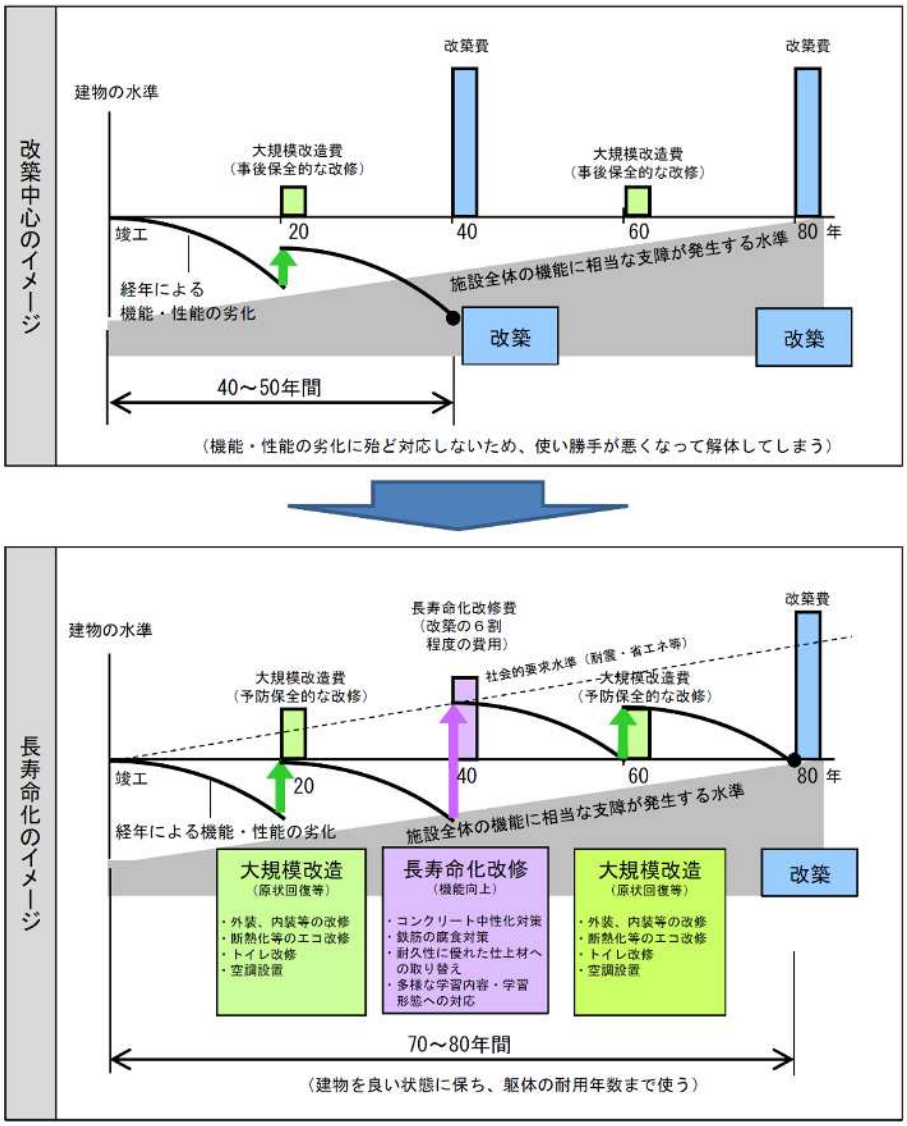
第６章 公共施設長寿命化計画の基本的な方針等

１ 公共施設長寿命化計画の基本的な方針

公共施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な環境を維持するためには、施設の定期的な点検を実施し、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行うことで、従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができるため、公共施設の長寿命化を図る上で「計画保全」の考え方を基本方針とします。

鉄筋コンクリート造等の大規模な施設整備について、「改築を中心もしくは事後保全の維持管理(建替え年数 40 年)」から、「築 20 年程度経過後に機能回復のための予防保全的な改修等、中間期（40 年など）に長寿命化改修、その後も建物の部位ごとの更新周期を勘案し、約 20 年スパンで予防保全的な改修を計画的に行う」など、計画保全による建物の長寿命化(建替え年数 80 年)に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

◆図表 6-1 改築中心から長寿命化への転換のイメージ



２ 改修等の基本的な方針

公共施設の長寿命化には次のようなメリットがあります。

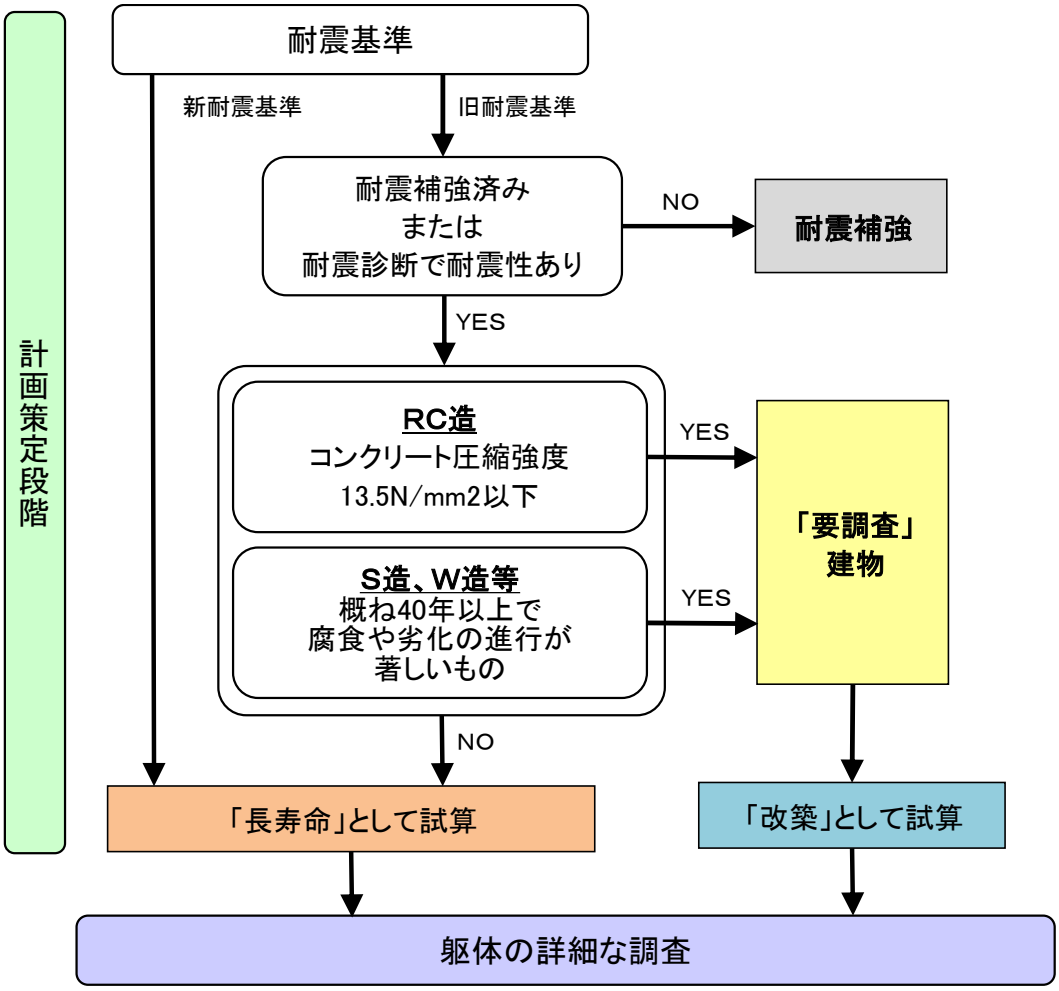
①建替えと比較して構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用の縮減や工期の短縮を行うことができる。

②長寿命化改修への転換により、限られた予算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができる。

③建替えと比べて廃棄物排出量や二酸化炭素発生量が減少し、大幅に環境負荷が低減する。

本村においても詳細診断の結果、長寿命化改修が可能な公共施設は長寿命化することとしますが、実際の施設の長寿命化・建替え等にあたっては、ユニバーサルデザインの視点に立ち、人口・利用者数等の将来見通し、詳細診断の結果、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して決定するものとします。

◆図表 6-2 長寿命化判定フロー



3 目標耐用年数の設定

目標耐用年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方を参考に、下表のとおり設定します。

なお、学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成 27 年 4 月文部科学省）では、「適正な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度、さらに、技術的には 100 年以上持たせるような長寿命化も可能である。」とされています。

◆図表 6-3 構造に応じた目標耐用年数

目標耐用年数		
鉄筋コンクリート造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 鉄骨造	木造・ブロック造	軽量鉄骨造
80年	50年	30年

◆図表 6-4 建築全体の望ましい目標耐用年数の級

構造 / 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質の場合	普通品質の場合	高品質の場合	普通品質の場合			
学校・庁舎	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。60以上
住宅・事務所・病院	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
店舗・旅館・ホテル	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
工　場	Y。40以上	Y。25以上	Y。40以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上

建築物の耐久計画に関する考え方((社)日本建築学会)より

◆図表 6-5 建築全体の望ましい目標耐用年数の級

級（Y。）	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y。150	150年	120～200年	120年
Y。100	100年	80～120年	80年
Y。60	60年	50～80年	50年
Y。40	40年	30～50年	30年
Y。25	25年	20～30年	20年
Y。15	15年	12～20年	12年
Y。10	10年	8～12年	8年
Y。6	6年	5～8年	5年
Y。3	3年	2～5年	2年

4 更新周期

建物には構成する主要な部位や材質に応じた耐用年数の目安があります。建築物の長寿命化を図るため、更新周期（年数）は、個別の仕様や材料により異なるため、下表に示すとおり部位に応じて一定の幅を持たせる方針とします。

緊急性や重要性等を考慮し、施設本体の長寿命化修繕改修を優先的に実施します。

また、比較的大規模な修繕工事においては、その工事と関連した部位を同時に措置することが合理的となり、修繕費用の低減を図ることが可能となります。

◆図表 6-6 改修周期と改修内容（例）

築年数	事業区分	工事内容
0 年	新築（改築）	建物の新設
20 年	大規模改造（原状回復等）	内外装・設備の更新
40～45 年	長寿命化改修（機能向上）	内外装・設備の更新 必要に応じて、躯体の改質工事
60～65 年	大規模改造（原状回復等）	内外装・設備の更新

◆図表 6-7 主な改修工事と関連部位・機器等の例

部位・設備等	主な改修工事	同時に措置した方が良い部位・設備等の例	更新・改修周期の目安
外　壁	仕上げ改修(塗装、吹付、タイル補修等)	シーリング、外部建具、笠木、樋、断熱材	10～30 年 仕上げ材による
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、笠木	10～15 年
	建具改修(サッシ、カーテンウォール等)	シーリング	約 40 年
屋　根	防水改修	排水溝(ルーフドレン)、笠木、屋上手すり、設備架台、断熱材	10～30 年
電気設備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	20～30 年
空調設備	冷暖房設備(ファンコイル、空調機)改修	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水	15～20 年
	熱源改修	配管等	15～20 年
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管、(冷温水管)等	15～30 年

（公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル
（平成 17 年 6 月)より抜粋）

※その他、ストックに対する主な工事として、耐震性能向上、環境性能向上、バリアフリー化等を目的とした改修を行う場合も想定されますが、劣化や機能停止への対処として行われる性質のものではないため、本整理の対象外としました。ただし、施設の実情等に応じて、これらの改修工事と修繕を同時に行うことも検討する必要があります。

5 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

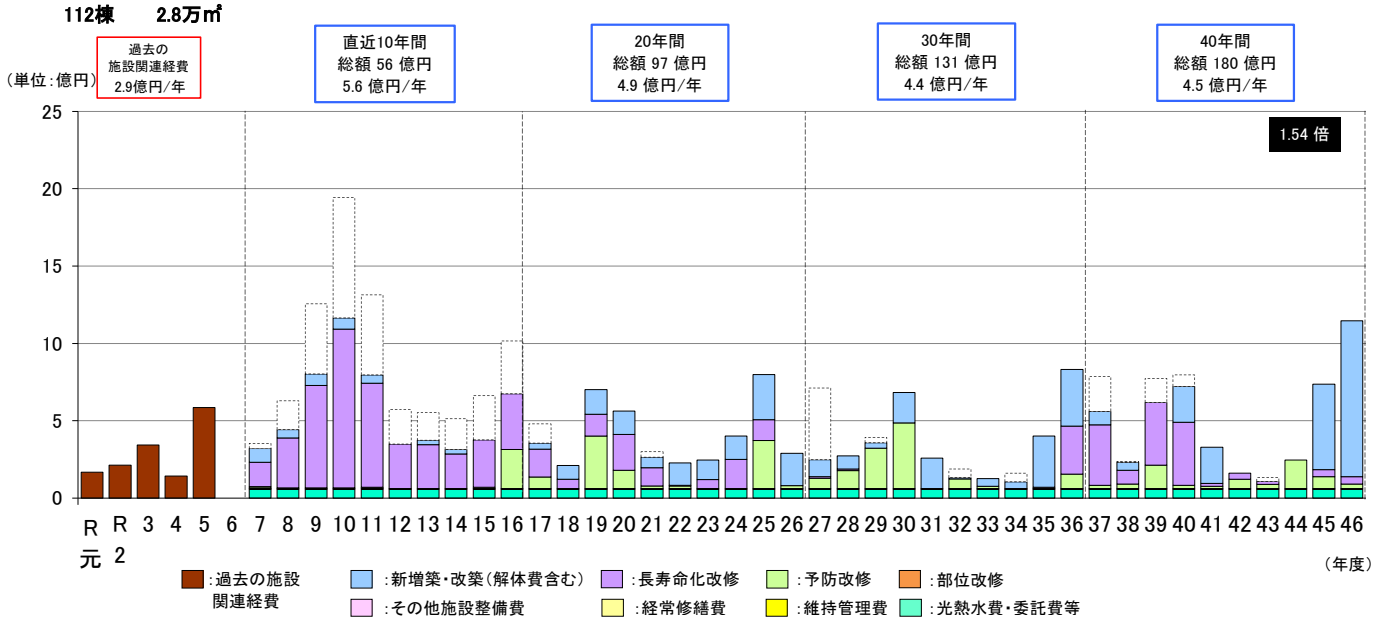
今後公共施設の建替えによる費用集中を避け、将来の費用を縮減していくため、図表 6-1 の「長寿命化のイメージ」の図のとおり、鉄筋コンクリート造であれば図表 6-3 に示した目標耐用年数の 80 年を使用できるように、40 年目に長寿命化改修、20 年目及び 60 年目に大規模改造を実施した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額 180 億円（4.5 億円/年）となり、従来の建替え中心の場合（図表 3-12）の 185 億円（4.6 億円/年）より総額 5 億円（0.1 億円/年）、約 2.7%の縮減となります。

一方、直近５年間の施設関連経費 2.9 億円/年の 1.54 倍のコストがかかると試算されています。

今後新築する建物があること、人口減少は避けられない状況であることを考え合わせると、長寿命化だけでは今後の厳しい財政状況に対応できない状況です。

このため、将来の人口減少等を考慮した公共施設の総資産量の適正化の検討を行います。

◆図表 6-8 今後の維持・更新ソフト（長寿命化型）



コスト試算条件（長寿命型）

基 準 年 度：2024 年（試算期間：基準年の翌年度から 40 年間）

改　　築：更新周期＜LGS 造：30 年＞、＜CB 造･W 造：50 年＞、＜RC 造･SRC 造･S 造：80 年＞
RC 造･SRC 造･S 造については、工事期間 2 年実施
なお、築年数が 40 年超の施設は、基準年度の翌年度から 10 年間に改築費を按分し、計上している。

大規模改造：実施年数 20 年周期

部 位 修 繕：D評価 今後 5 年以内に部位修繕を実施
C評価 今後 10 年以内に部位修繕を実施
A評価 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

単 価 設 定：改築単価　公共施設等更新費用試算ソフトの更新単価に物価変動を考慮
長寿命化改修は改築単価の 60%、大規模改造は改築単価の 25%

第７章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

１ 学校施設における改修等の整備水準

文部科学省は「学校施設の長寿命化計画策定の手引」において、「改修（特に長寿命化改修）の実施に当たっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行うことが重要である。」としています。

長寿命化において配慮すべき性能として、安全安心に学べる教育環境とし、少子高齢化や小学校の地域としての役割（避難所、地域コミュニティの場等）を踏まえ、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、教育のＩＣＴ化、省エネルギー化、バリアフリー等の社会的要求に対応した機能付加など、ニーズや費用等を勘案しながら整備を進めていきます。

また、他の施設についても、改修等の基本的な方針を踏まえ、必要に応じ改修時等には必要な整備水準の検討を行います。

2 維持管理の項目・手法等

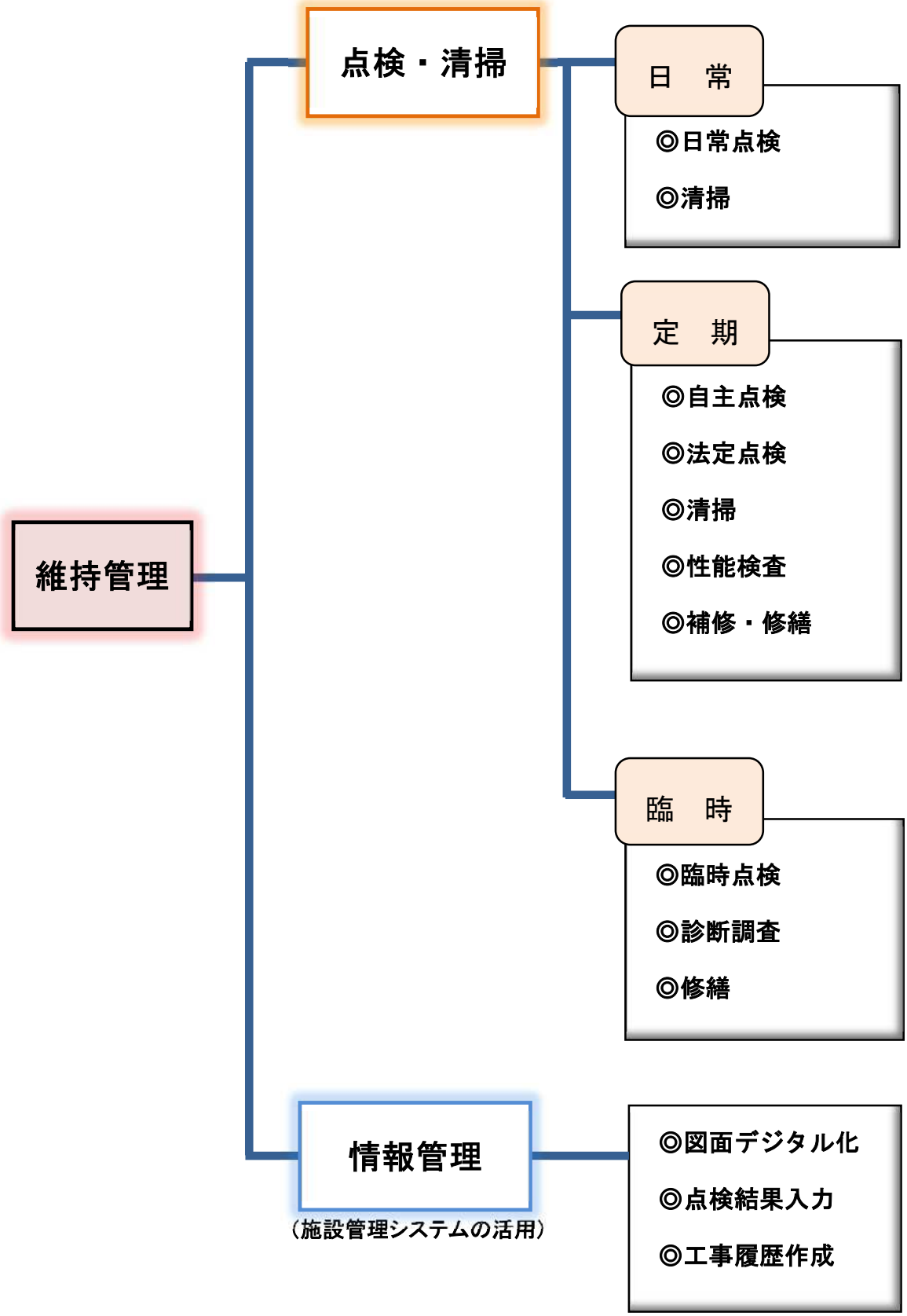
長寿命化を図るためには、定期的に改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行う必要があります。

日常的、定期的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握でき、より早急に異常に気付くことができるため、施設に応じた維持、改修内容や時期を計画に反映することができます。

◆図表 7-1 維持管理の項目・手法例

維持管理	項　目	内　容	頻　度	主 担 当 者
日常的な点検	日常点検	機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見する。	毎日	施設管理者、所管課
清掃	清掃	快適な環境を維持しながら建物の仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れを除去する。	各点検に合わせて随時実施	施設管理者、専門業者
定期的な点検	自主点検	機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画を立てる。	1 週、1 ヶ月 半年、1 年等 周期を設定	施設管理者、所管課
	法定点検	自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検する。		専門業者
臨時的な点検	臨時点検	日常、定期点検以外に行う臨時点検。	故障警報、気象情報等により、随時実施	施設管理者、所管課、専門業者
情報管理	図面デジタル化	建築図面をデジタル化・管理し、施設管理システムに格納し、点検や現状把握の際に活用する。	随時	総務課、所管課
	点検結果入力	施設管理システムに点検・工事の履歴を入力し、各公共施設の現状把握や計画への反映に活用する。	各点検に合わせて随時実施	総務課、所管課
	工事履歴作成		改修・修繕後に実施	総務課、所管課

◆図表 7-2 維持管理の項目



第８章 施設類型別の個別施設計画（中・長期計画）

１ 個別施設計画（中・長期計画）について

個別施設計画は、各施設の実状と課題を踏まえ、公共施設の適正配置、長寿命化、改修等における基本方針をもとに、施設類型別に今後の対策の方向性や改修・改築の時期などの内容や推計事業費を中・長期計画として年度ごとに落とし込んだものです。

公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢化による厳しい財政状況、ライフスタイルの多様化などによる住民ニーズの変化などにより、現状のまま維持していくことはできない状況です。

本当に必要か、持続可能かを長期的な視点をもって、この機会に再度見直すことにより、村民や利用者の方々に安全安心で質の高い施設サービスを提供するとともに、持続可能な財政運営を目指していきます。

２ 優先順位の考え方

図表 8-1 のフローにより優先順位を検討しますが、主な視点は次のとおりです。

①安全性・・・・・緊急性、耐震性、長寿命化、障害の排除

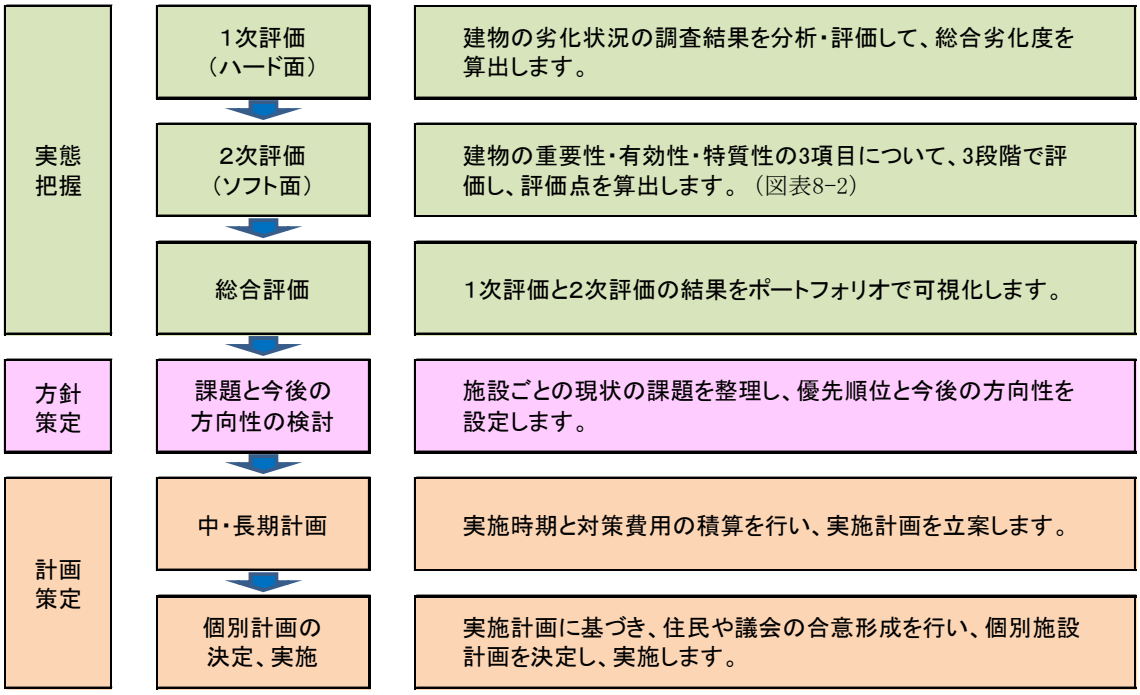
②機能性・・・・・原状回復、防災・防犯、省エネ

③経済性・・・・・ライフサイクルコストの低減

④代替性・・・・・他に代替えがないもの

⑤社会性・・・・・社会的ニーズ（洋式トイレ、ＬＥＤ、ユニバーサルデザインなど）

◆図表 8-1 優先順位判断と計画策定フロー



◆図表 8-2 二次評価方法

公共施設のソフト面の評価方法（2次評価）について

2次評価は、重要性、有効性、特質性の3つの区分において、各評価項目に該当する項目の数によって、「3」、「2」、「1」の3段階で評価します。

各区分には、重みづけの係数を設定し、評価点と係数を乗じたものを合計して評価点を算出します。

2次評価点＝総和（各区分の評価点×重みづけの係数）

区分の重みづけ係数	
重要性	1.00
有効性	0.75
特質性	0.50

区分	評価	係数		評価項目	該当
重要性	3：該当項目4～5 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	1.00	1	法律等により設置が義務付けられている。	○
			2	この施設が存在しなければ、多くの住民の日常生活に支障が出る。	○
			3	施策を実現する上で必要不可欠な施設である。	○
			4	設置目的の社会的要請が、設置当時と同様にある(ほとんど低下していない)。	○
			5	避難所に指定されている等、災害時に必要な施設である。	○
有効性	3：該当項目4～5 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	0.75	6	設置目的と現在の利用形態が合致している。	○
			7	施設設置当時から、稼働率・利用者数が50%以上減少していない。	○
			8	収入が減少傾向にない。（収入のない施設は非該当）	
			9	投票所等にも幅広く活用可能で汎用性の高い施設。	○
			10	公共性が高い（一部の個人・団体が使っているのではない）。	○
特質性	3：該当項目4～6 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	0.50	11	建物自体に歴史的、文化的、象徴的価値がある。	
			12	他の建物で代替えができない（他の建物では設置目的が達成できない）。	○
			13	近隣の自治体との広域的な連携ができない。	○
			14	浸水想定区域・土砂災害警戒区域内には設置されていない。	○
			15	施設整備に関し、国県補助金、記載の償還などの制約がある。	
			16	多くの住民から設置継続を要望されている。	○

（例）

建物名	重要性	有効性	特質性	2次評価
役場庁舎	3	3	3	6.75
○○センター	3	2	1	4.75
△□館	1	3	1	3.25

重要性	3
有効性	3
特質性	3

3 施設類型別の個別施設計画表

施設類型別の個別施設計画表の記載内容について説明します。

① 基礎調査表

建物の基本情報と利用状況等の現状、劣化調査結果（一次評価）とソフト面の評価（二次評価）の結果を、施設類型別に建物ごとに整理しています。

② 総合評価

一次評価と二次評価の点数により、ポートフォリオに表したものです。

点数が両方とも高い建物は、最も対策の優先順位が高いと評価します。

③ 中・長期計画

建物ごとの残存耐用年数、及び別途建物ごとに作成した「維持管理経費試算シート」の年度別事業費を計上しています。

改築、改修等の単価は、総務省提供の「公共施設更新費用試算ソフト」を使用し、今後、同種、同規模で改築、改修等した場合の必要コストを試算しています。

費用の集計には、文部科学省提供の「コスト試算ツール」を使用し、今後、同種同規模で建物を改築、更新等をした場合の必要コストを試算しています。

実施計画で事業費を個別に算出している場合は、その事業費を費用計上します。

◆図表 8-3 施設類型別改築・改修単価表（物価変動を考慮）

施設分類	建替え	長寿命化改修	大規模改造
村民文化系、行政系、社会教育系、産業系	50 万円/㎡	30 万円/㎡	12.5 万円/㎡
ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系、保健・福祉、その他	45 万円/㎡	27 万円/㎡	11.3 万円/㎡
学校施設系、子育て支援系、公園	41 万円/㎡	24.6 万円/㎡	10.3 万円/㎡

④ 主な課題

一次評価、二次評価の結果、配置及び現段階で把握している現状の課題を建物ごとに記載しています。

⑤ 対策の方向性

公共施設の適正配置の基本方針を踏まえて検討した当該施設の今後の方向性を記載しています。

今後、この計画をもとに住民や議会での合意形成を図りながら実施していきます。具体的な実施計画があるものについては、その旨を記載しています。

なお、この計画は、上位計画の改訂、人口の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に見直すこととします。

◆8-5 施設類型別の個別施設計画表

（１）行政系施設①

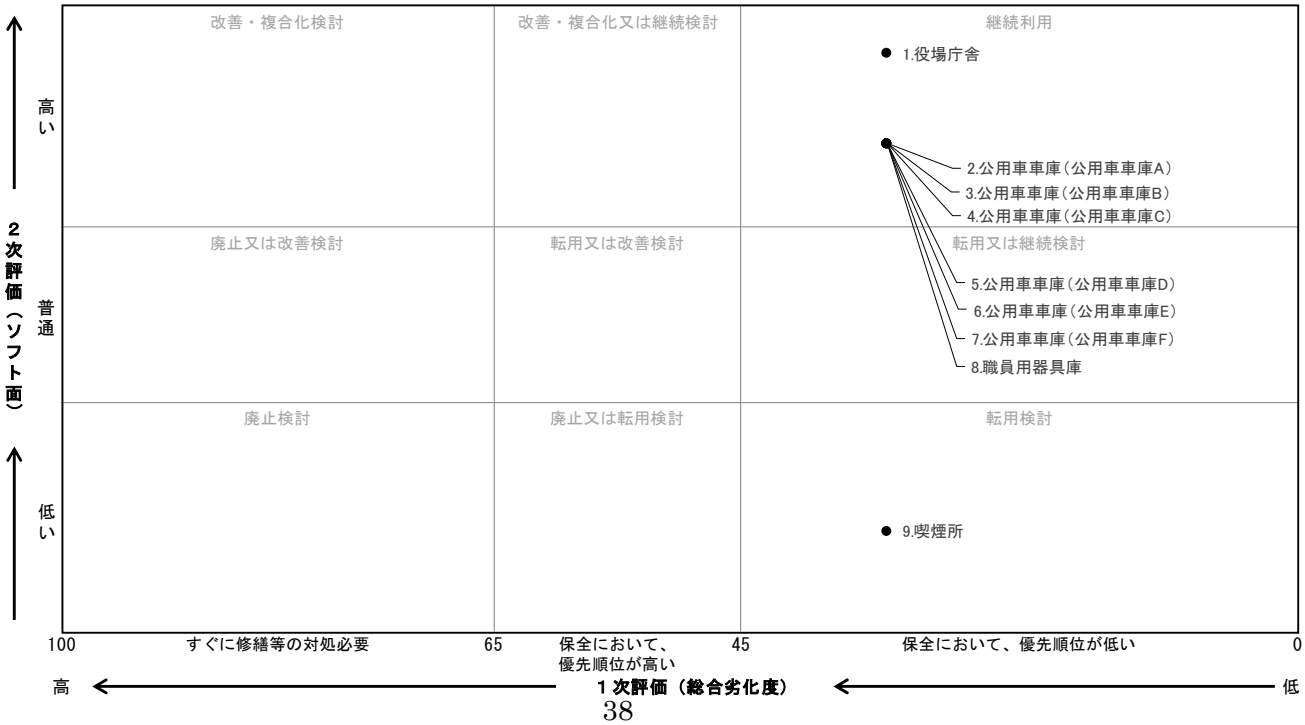
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
1	役場庁舎	役場庁舎	古見1555番地1外	総務課	行政系	W	2,245.00	H29(2017)	7	直営	村行政拠点施設村議会	有	3	3	3	6.75			長寿命	(33)
2	公用車車庫	公用車車庫A	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	70.20	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
3	公用車車庫	公用車車庫B	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	88.70	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
4	公用車車庫	公用車車庫C	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	70.42	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
5	公用車車庫	公用車車庫D	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	84.51	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
6	公用車車庫	公用車車庫E	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	84.51	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
7	公用車車庫	公用車車庫F	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	39.11	H29(2017)	7	直営	公用車車庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
8	職員用器具庫	職員用器具庫	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	20.50	H29(2017)	7	直営	器具庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	(33)
9	喫煙所	喫煙所	古見1555番地1外	総務課	行政系	LGS	6.27	H29(2017)	7	直営	喫煙所	無	1	1	2	2.75			長寿命	(33)

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
					△ 281												● 674													○ 281										1
																						◇ 35																		2
																						◇ 44																		3
																						◇ 35																		4
																						◇ 42																		5
																						◇ 42																		6
																						◇ 20																		7
																						◇ 10																		8
																						■																		9
					281												674					228								281										合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
1	役場庁舎	役場庁舎	木造外壁部は予定より早く塗装を行った、塗装が必要	適切な維持管理	継続	継続
2	公用車車庫	公用車車庫A	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
3	公用車車庫	公用車車庫B	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
4	公用車車庫	公用車車庫C	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
5	公用車車庫	公用車車庫D	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
6	公用車車庫	公用車車庫E	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
7	公用車車庫	公用車車庫F	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
8	職員用器具庫	職員用器具庫	特になし	軽量鉄骨製車庫は基本的に修繕無で使用を続け耐用年数後改築	継続	継続
9	喫煙所	喫煙所	2019.7に現用途廃止	耐用年数後廃止	廃止	取壊し

（1）行政系施設②

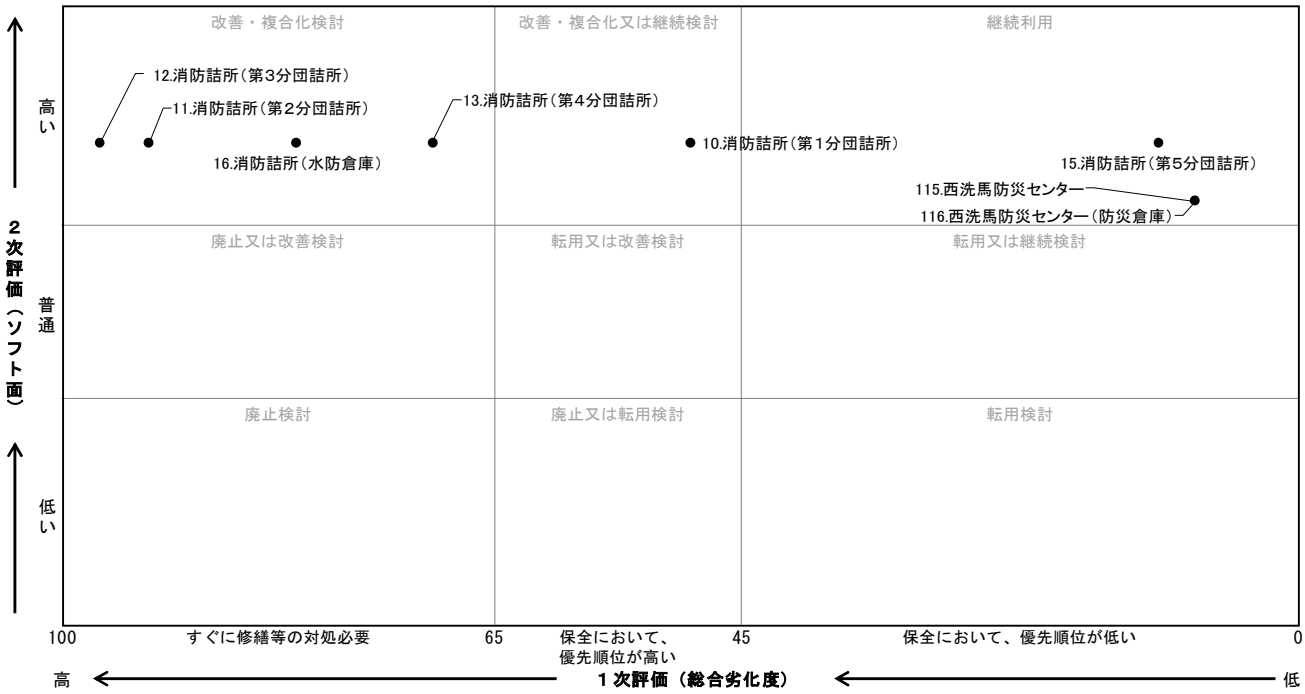
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
10	消防詰所	第１分団詰所	小野沢246番地6	総務課	行政系	S	177.88	H13 (2001)	23	直営	防災・消防拠点	無	3	2	3	6.00			長寿命	(49)
11	消防詰所	第２分団詰所	古見1804番地1	総務課	行政系	W	115.19	S56 (1981)	43	直営	防災・消防拠点	無	3	2	3	6.00			改築	(93)
12	消防詰所	第３分団詰所	針尾1037番地4	総務課	行政系	W	84.19	S52 (1977)	47	直営	防災・消防拠点	無	3	2	3	6.00		2021年度に休止⇒地区の防災倉庫として利用する	廃止	(97)
13	消防詰所	第４分団詰所	針尾216番地4	総務課	行政系	W	158.62	S60 (1985)	39	直営	防災・消防拠点	無	3	2	3	6.00			長寿命	(70)
15	消防詰所	第５分団詰所	西洗馬1419番地1、1420番	総務課	行政系	S	128.00	R2 (2020)	4	直営	防災・消防拠点	無	3	2	3	6.00			長寿命	(11)
16	消防詰所	水防倉庫	小野沢330番地1	総務課	行政系	LGS	50.00	H1 (1989)	35	直営	水防備品倉庫	無	3	2	3	6.00			改築	(81)
115	西洗馬防災センター	西洗馬防災センター	西洗馬1419番地2	総務課	行政系	S	270.00	R5 (2023)	1	直営	旧保育園	無	3	2	2	5.50			長寿命	(8)
116	西洗馬防災センター	防災倉庫	西洗馬1419番地2	総務課	行政系	S	40.00	R5 (2023)	1	地区	防災センター	有	3	2	2	5.50			長寿命	(8)

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
	△ 22															● 27	● 27																			○ 22				10
						◇ 58																																		11
		■																																						12
										◇ 79																														13
															△ 16																				● 19	● 19				15
	◇ 25																																							16
																		△ 34																				● 41	● 41	115
																		△ 5																				● 6	● 6	116
47					58				79					16	26.5	26.5	39																	19	41		46.5	46.5	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
10	消防詰所	第１分団詰所	2026に大規模改修、2041長寿命化改修の時期	適切な維持管理	継続	継続
11	消防詰所	第２分団詰所	2031目標耐用年数到来（築50年）	適切な維持管理	継続	改築
12	消防詰所	第３分団詰所	2027目標耐用年数到来（築50年）	適切な維持管理	継続	廃止
13	消防詰所	第４分団詰所	2035目標耐用年数到来（築50年）	適切な維持管理	継続	継続
15	消防詰所	第５分団詰所	特になし		継続	継続
16	消防詰所	水防倉庫	2019目標耐用年数到来（築30年）	劣化状況に応じて改築	継続	改築
115	西洗馬防災センター	西洗馬防災センター	新築につき特になし		継続	継続
116	西洗馬防災センター	防災倉庫	新築につき特になし		継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

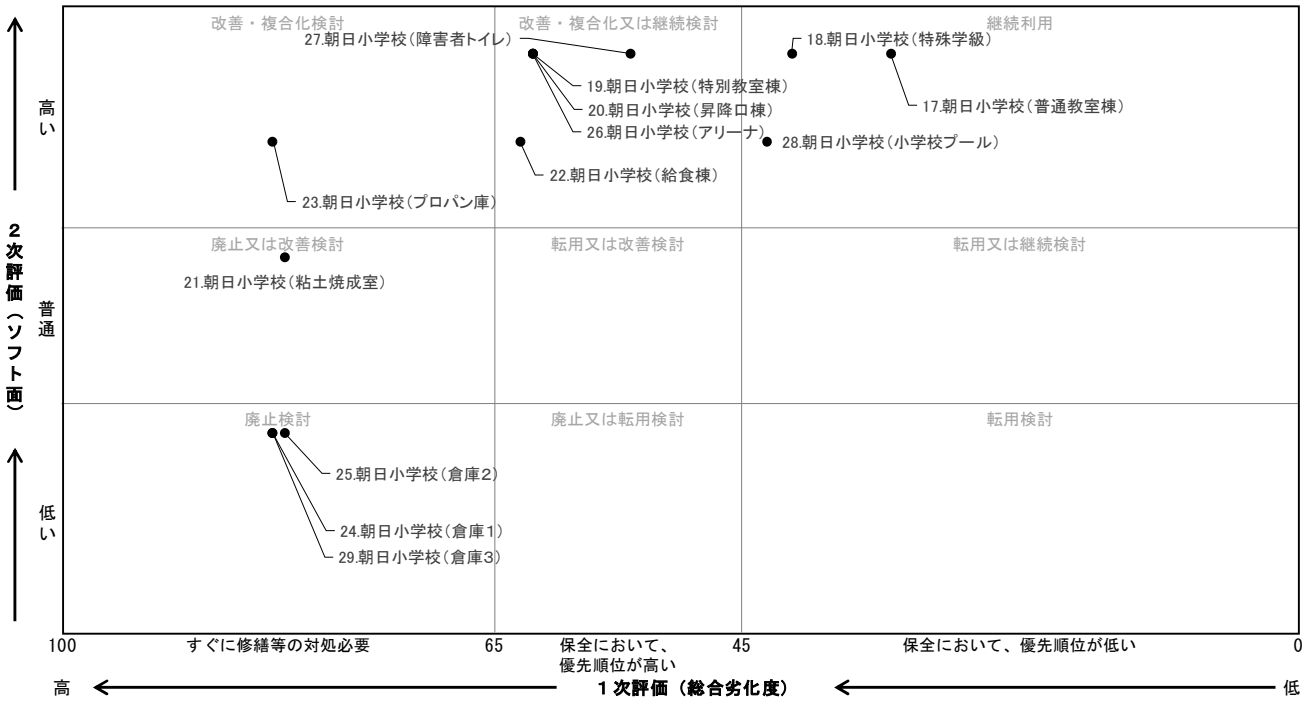
（2）学校教育系施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状									
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
17	朝日小学校	普通教室棟	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	RC	2,237.00	S62(1987)	37	直営	児童教育施設	無	3	3	3	6.75	2023長寿命化改修		長寿命	33
18	朝日小学校	特殊学級	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	S	102.00	H14(2002)	22	直営	児童教育施設	無	3	3	3	6.75			長寿命	41
19	朝日小学校	特別教室棟	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	RC	1,986.00	S63(1988)	36	直営	児童教育施設	無	3	3	3	6.75	2024長寿命化改修		長寿命	62
20	朝日小学校	昇降口棟	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	RC	251.00	S63(1988)	36	直営	児童教育施設	無	3	3	3	6.75			長寿命	62
21	朝日小学校	粘土焼成室	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	S	24.00	S63(1988)	36	直営	児童教育施設	無	2	2	3	5.00			長寿命	（82）
22	朝日小学校	給食棟	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	RC	183.00	S62(1987)	37	直営	給食施設	無	3	2	3	6.00			長寿命	63
23	朝日小学校	プロパン庫	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	CB	9.00	S62(1987)	37	直営	プロパン庫	無	3	2	3	6.00			長寿命	（83）
24	朝日小学校	倉庫１	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	CB	54.00	S62(1987)	37	直営	倉庫	無	1	2	2	3.50			長寿命	（83）
25	朝日小学校	倉庫２	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	CB	30.00	S63(1988)	36	直営	倉庫	無	1	2	2	3.50			長寿命	（82）
26	朝日小学校	アリーナ	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	RC	1,066.00	S63(1988)	36	直営	体育館	有	3	3	3	6.75			長寿命	62
27	朝日小学校	障害者トイレ	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	S	41.00	H8(1996)	28	直営	児童教育施設	無	3	3	3	6.75			長寿命	（54）
28	朝日小学校	小学校プール	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	W	916.00	H10(1998)	26	直営	児童教育施設	無	3	2	3	6.00	2023改修		長寿命	43
29	朝日小学校	倉庫３	古見1265番地	教育委員会	学校教育系	CB	60.00	S62(1987)	37	直営	倉庫	無	1	2	2	3.50			長寿命	（83）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
																						○ 230																		17
					△ 11												● 13	● 13																			○ 11			18
																							○ 205																	19
△ 26																							○ 26																	20
			● 3	● 3																			○ 2																	21
● 179																						○ 19																		22
												◇ 4																												23
												◇ 22																												24
													◇ 12																											25
			● 131	● 131																			○ 110																	26
● 35																															○ 4										27
										○ 94													◇ 376																	28
												◇ 25																												29
240			134	134	11					94		51	12				12.5	12.5				249	719								4						11			合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
17	朝日小学校	普通教室棟	児童数の減少、床の摩耗など経年劣化進行	適切な維持管理(R5長寿命化改修)	継続	継続
18	朝日小学校	特殊学級	経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
19	朝日小学校	特別教室棟	児童数の減少、漏水、床摩耗など経年劣化の進行	適切な維持管理（R6長寿命化改修）	継続	継続
20	朝日小学校	昇降口棟	児童数の減少、漏水、床摩耗など経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
21	朝日小学校	粘土焼成室	2028長寿命化改修の時期	劣化状況に応じて改築	継続	改修
22	朝日小学校	給食棟	児童数の減少、内部床・壁など経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
23	朝日小学校	プロパン庫	2037改築の時期	劣化状況に応じて改築	継続	改築
24	朝日小学校	倉庫１	2037改築の時期	劣化状況に応じて改築	継続	改築
25	朝日小学校	倉庫２	2038改築の時期	劣化状況に応じて改築	継続	改築
26	朝日小学校	アリーナ	児童数の減少、外壁・床など経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
27	朝日小学校	障害者トイレ	経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
28	朝日小学校	小学校プール	2023年長寿命化改修終了	適切な維持管理	継続	継続
29	朝日小学校	倉庫３	2037改築の時期	劣化状況に応じて改築	継続	改築

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

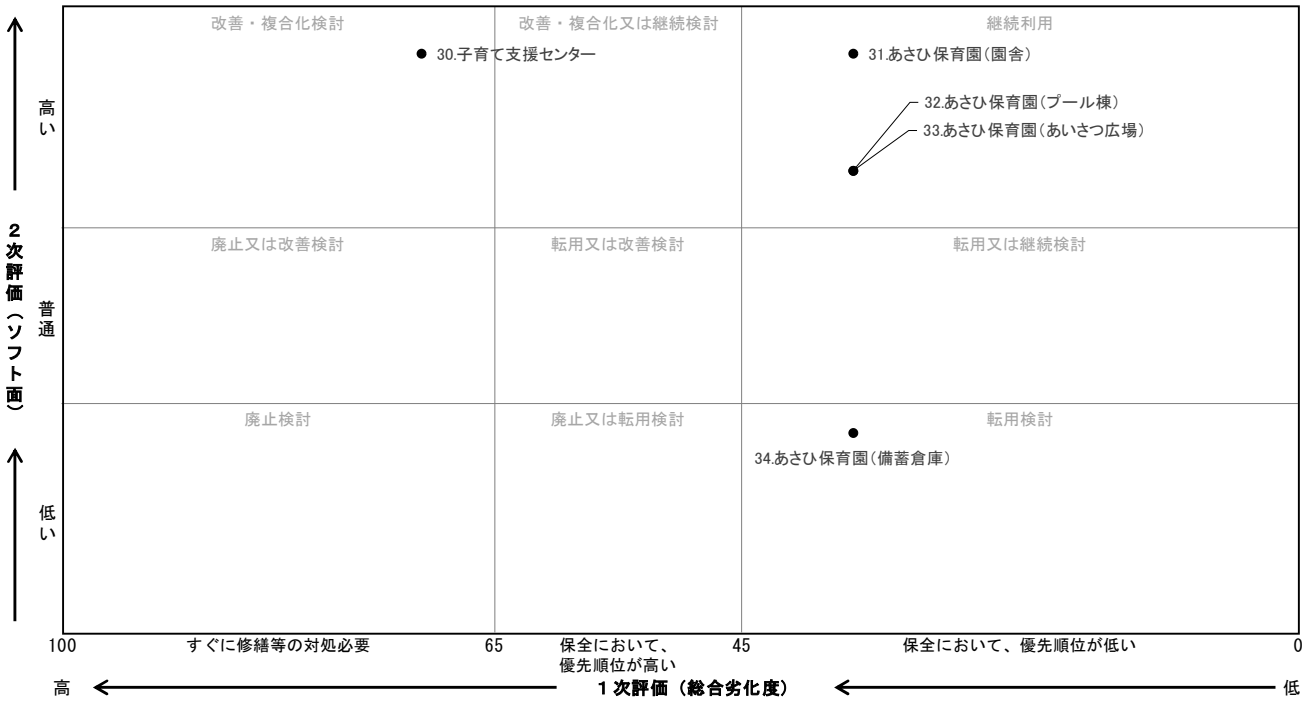
（3）子育て支援施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状									
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
30	子育て支援センター	子育て支援センター	古見1286番地	教育委員会	子育て支援	RC	1,135.00	S53（1978）	46	直営	子育て支援	有	3	3	3	6.75		漏水多数	長寿命	71
31	あさひ保育園	園舎	古見1274番地1	教育委員会	子育て支援	W	1,396.44	H26（2014）	10	直営	幼児保育 子育て支援	有	3	3	3	6.75	外壁改修を実施		長寿命	（36）
32	あさひ保育園	プール棟	古見1274番地1	教育委員会	子育て支援	S	137.82	H26（2014）	10	直営	幼児保育 子育て支援	無	2	3	3	5.75			長寿命	（36）
33	あさひ保育園	あいさつ広場	古見1274番地1	教育委員会	子育て支援	S	87.61	H26（2014）	10	直営	幼児保育 子育て支援	無	2	3	3	5.75			長寿命	（36）
34	あさひ保育園	備蓄倉庫	古見1275番地1	教育委員会	子育て支援	RC	9.27	H26（2014）	10	直営	倉庫	無	1	2	2	3.50			長寿命	（36）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
	● 424												○ 117																				◇ 232.5	◇ 232.5						30
														● 344													○ 144													◇ 286.5	31
									△ 4										△ 14										● 17	● 17										32
									△ 4										△ 9										● 11	● 11										33
									△ 1										△ 1										● 1	● 1										34
	423.5								9				117	344					24								144		29	29			232.5	232.5					286.5	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
30	子育て支援センター	子育て支援センター	漏水、漏水による内壁・床・建具等の破損	周辺施設と複合化する	統合	複合
31	あさひ保育園	園舎		適切な維持管理、20年目の大規模改修を検討 地中熱ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ更新を検討	継続	継続
32	あさひ保育園	プール棟		適切な維持管理	継続	継続
33	あさひ保育園	あいさつ広場		適切な維持管理 20年目の大規模改修を検討	継続	継続
34	あさひ保育園	備蓄倉庫		適切な維持管理	継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

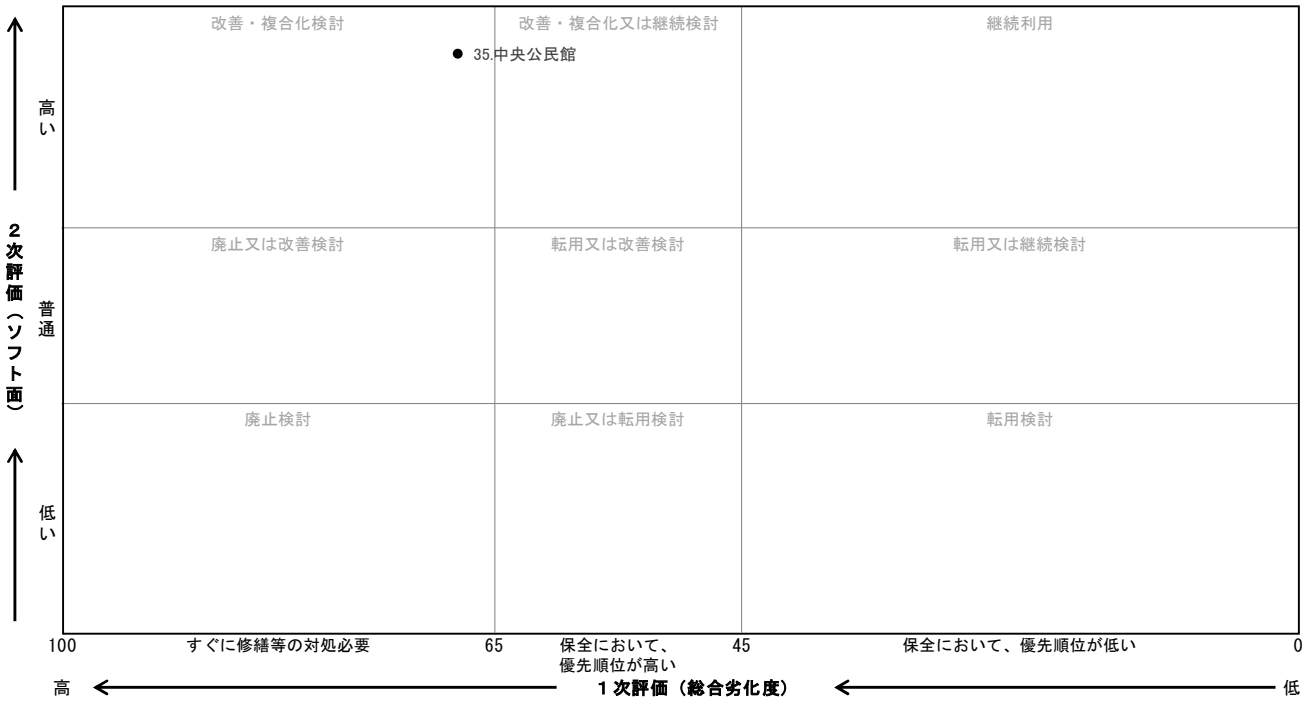
（4）村民文化系施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
35	中央公民館	中央公民館	古見1286番地	教育委員会	村民文化系	RC	1,322.67	S48（1973）	51	直営	村民文化拠点	有	3	3	3	6.75		本館内装電気設備	長寿命	68

※1 長寿命：長寿命化改修対象 改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
■ 1				● 497																								◇ 331	◇ 331											35
1				497																								330.5	330.5											合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
35	中央公民館	中央公民館	漏水、漏水による内壁・床・建具等の破損、水道管の劣化	周辺施設と複合化する	統合	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

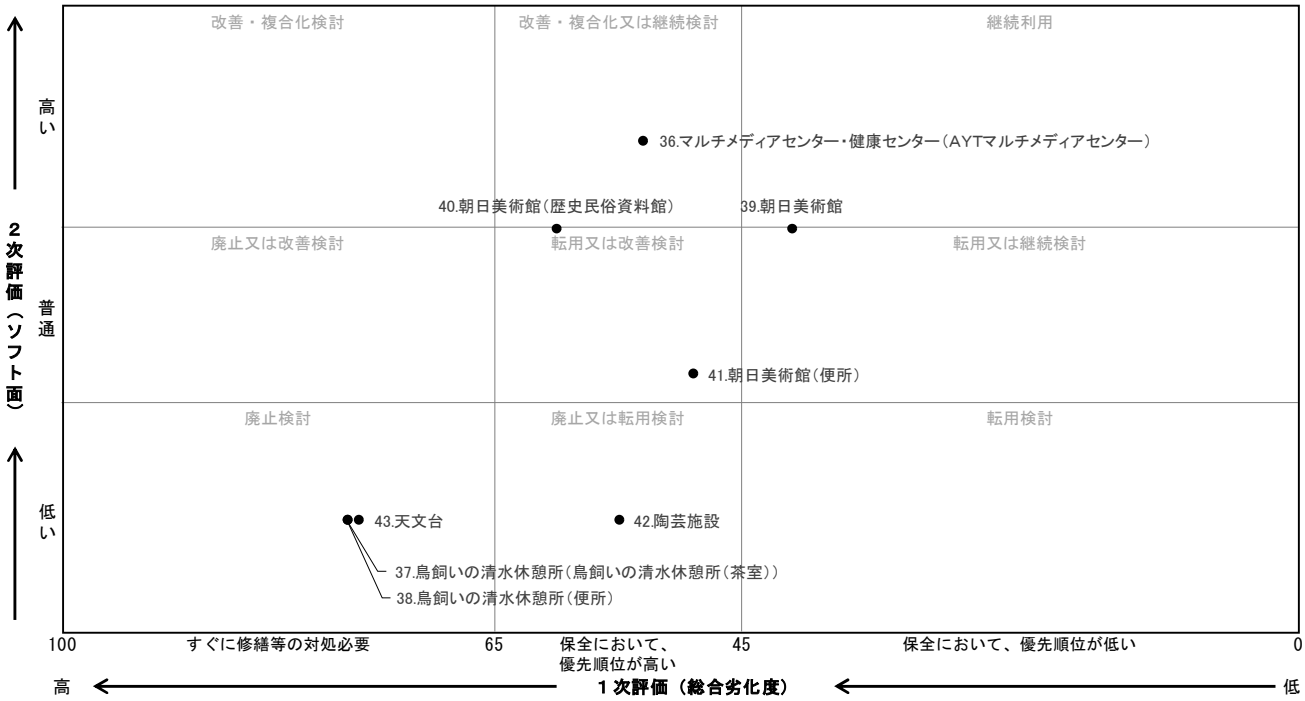
（５）社会教育系施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
36	マルチメディアセンター・健康センター	ＡＹＴマルチメディアセンター	古見1286番地	総務課	社会教育系	RC	766.00	H9（1997）	27	直営	社会教育施設	無	3	2	3	6.00			長寿命	53
37	鳥飼いの清水休憩所	鳥飼いの清水休憩所（茶室）	西洗馬2146番地	産業振興課	社会教育系	W	43.86	H5（1993）	31	直営	観光施設	無	1	1	2	2.75			長寿命	（77）
38	鳥飼いの清水休憩所	便所	西洗馬2146番地	産業振興課	社会教育系	W	5.78	H5（1993）	31	直営	利用者トイレ	無	1	1	2	2.75			長寿命	（77）
39	朝日美術館	朝日美術館	古見1308番地	教育委員会	社会教育系	RC	822.00	H14（2002）	22	直営	文化教育施設	無	2	3	2	5.25			長寿命	41
40	朝日美術館	歴史民俗資料館	古見1308番地	教育委員会	社会教育系	RC	497.00	H2（1990）	34	直営	文化教育施設	無	2	3	2	5.25			長寿命	60
41	朝日美術館	便所	古見1308番地	教育委員会	社会教育系	W	19.80	H13（2001）	23	直営	利用者トイレ	無	2	2	1	4.00			長寿命	（49）
42	陶芸施設	陶芸施設	古見1286番地	教育委員会	社会教育系	RC	13.00	H7（1995）	29	直営	陶芸施設	無	1	1	2	2.75		窯の維持・陶芸クラブ活動休止	長寿命	（55）
43	天文台	天文台	古見825番地1	教育委員会	社会教育系	RC	10.89	H6（1994）	30	直営	文化教育施設	無	1	1	2	2.75		借地・駐車場・移転	長寿命	（76）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
		△ 96										● 115	● 115																			○ 96								36
						○ 5												◇ 22																						37
						○ 1												◇ 3																						38
△ 60																				△ 103										● 123.5	● 123.5									39
										● 75	● 75																			○ 62										40
	● 6													○ 2												◇ 10														41
					◇ 7																																			42
					◇ 5																																			43
60	6	96			12	6				74.5	74.5	115	115	2				25		103						10				198.5	123.5	96								合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
36	マルチメディアセンター・健康センター	ＡＹＴマルチメディアセンター	建築後約30年、健康センター使用のための改修から約15年が経過し、経年劣化の進行している。 公民館周辺の施設複合化によって計画の変更がある	適切な維持管理 2027に大規模改造を実施する予定	継続	継続
37	鳥飼いの清水休憩所	鳥飼いの清水休憩所（茶室）	利用者数の減少、経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
38	鳥飼いの清水休憩所	便所	利用者数の減少、経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
39	朝日美術館	朝日美術館	利用者数の減少、経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
40	朝日美術館	歴史民俗資料館	利用者数の減少、経年劣化の進行	適切な維持管理	継続	継続
41	朝日美術館	便所	利用者数の減少、経年劣化の進行	劣化状況に応じて改築	継続	継続
42	陶芸施設	陶芸施設	利用者数の減少、経年劣化の進行		継続	継続
43	天文台	天文台	利用者数の減少、経年劣化の進行	劣化状況に応じて改築	継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

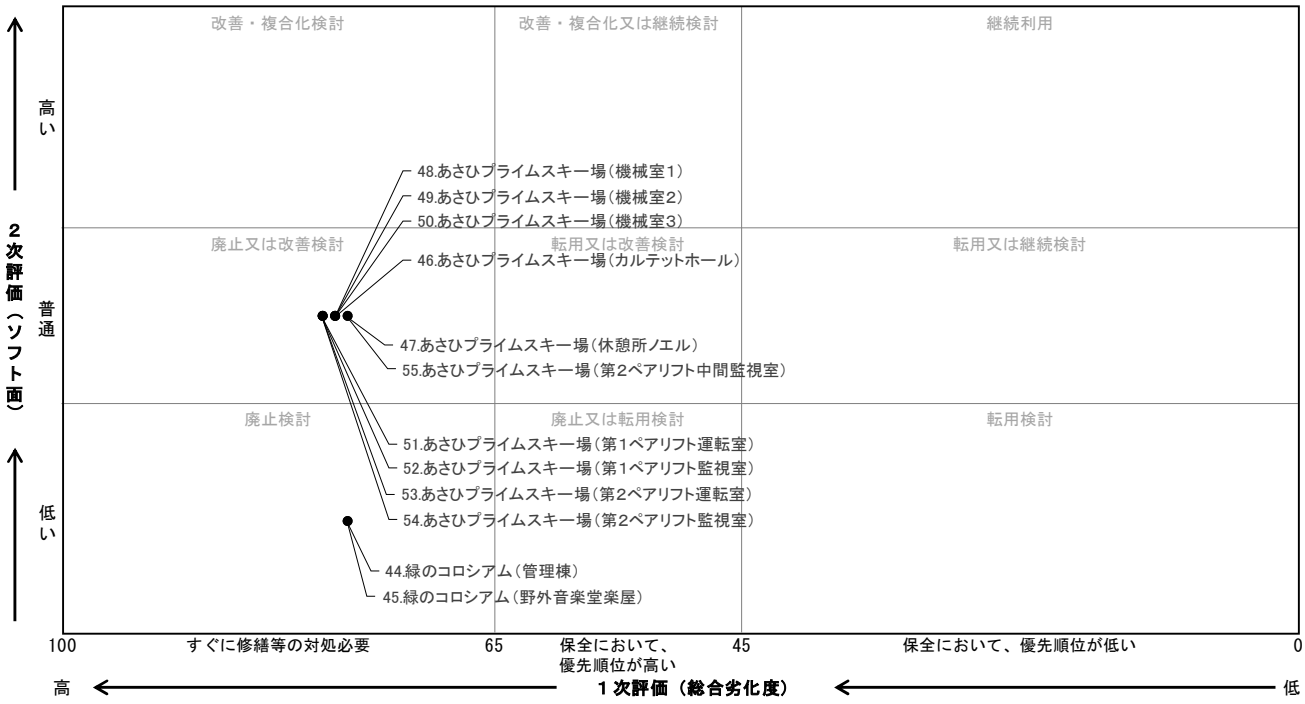
（6）スポーツ・レクリエーション系施設①

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
44	緑のコロシアム	管理棟	古見249番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	43.02	H5（1993）	31	指定管理	施設管理事務所	無	1	1	2	2.75			長寿命	（77）
45	緑のコロシアム	野外音楽堂楽屋	古見249番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	18.20	H5（1993）	31	指定管理	観光施設	無	1	1	2	2.75			長寿命	（77）
46	あさひプライムスキー場	カルテットホール	古見306番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	571.52	H4（1992）	32	指定管理	スキー場施設	有	2	2	2	4.50			長寿命	（78）
47	あさひプライムスキー場	休憩所ノエル	古見306番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	233.42	H5（1993）	31	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（77）
48	あさひプライムスキー場	機械室１	古見306番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	LGS	117.80	H4（1992）	32	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			改築	（78）
49	あさひプライムスキー場	機械室２	古見306番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	LGS	41.40	H4（1992）	32	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			改築	（78）
50	あさひプライムスキー場	機械室３	古見306番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	LGS	69.56	H4（1992）	32	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			改築	（78）
51	あさひプライムスキー場	第１ペアリフト運転室	古見304番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	9.72	H3（1991）	33	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（79）
52	あさひプライムスキー場	第１ペアリフト監視室	古見331番地3	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	3.24	H3（1991）	33	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（79）
53	あさひプライムスキー場	第２ペアリフト運転室	古見331番地3	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	9.72	H3（1991）	33	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（79）
54	あさひプライムスキー場	第２ペアリフト監視室	古見331番地4	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	3.24	H3（1991）	33	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（79）
55	あさひプライムスキー場	第２ペアリフト中間監視室	古見331番地9	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	3.24	H5（1993）	31	指定管理	スキー場施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（77）
							1,124.08													

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
											○ 5												◇ 19																	44
											○ 2												◇ 8																	45
					○ 65												◇ 257																							46
					○ 26													◇ 105																						47
					◇ 53																																			48
					◇ 19																																			49
					◇ 31																																			50
	◇ 4																																							51
	◇ 1																																							52
	◇ 4																																							53
	◇ 1																																							54
	◇ 1																																							55
	11				194						7						257	105					27																	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
44	緑のコロシアム	管理棟	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続	検討継続	検討継続
45	緑のコロシアム	野外音楽堂楽屋	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続	検討継続	検討継続
46	あさひプライムスキー場	カルテットホール	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続	継続	継続
47	あさひプライムスキー場	休憩所ノエル	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続	継続	継続
48	あさひプライムスキー場	機械室1	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続 改築は2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	検討継続	検討継続
49	あさひプライムスキー場	機械室2	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続 改築は2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	検討継続	検討継続
50	あさひプライムスキー場	機械室3	利用者数の減少	大型投資を行わず、指定管理により管理を継続 改築は2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	検討継続	検討継続
51	あさひプライムスキー場	第1ペアリフト運転室	利用者数の減少	老朽化が激しいため、プレハブ等で建替え検討	継続	継続
52	あさひプライムスキー場	第1ペアリフト監視室	利用者数の減少	老朽化が激しいため、プレハブ等で建替え検討	継続	継続
53	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト運転室	利用者数の減少	老朽化が激しいため、プレハブ等で建替え検討	継続	継続
54	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト監視室	利用者数の減少、壁等の劣化部分簡易補修	老朽化が激しいため、プレハブ等で建替え検討	継続	継続
55	あさひプライムスキー場	第2ペアリフト中間監視室	利用者数の減少、壁等の劣化部分簡易補修	老朽化が激しいため、プレハブ等で建替え検討	継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

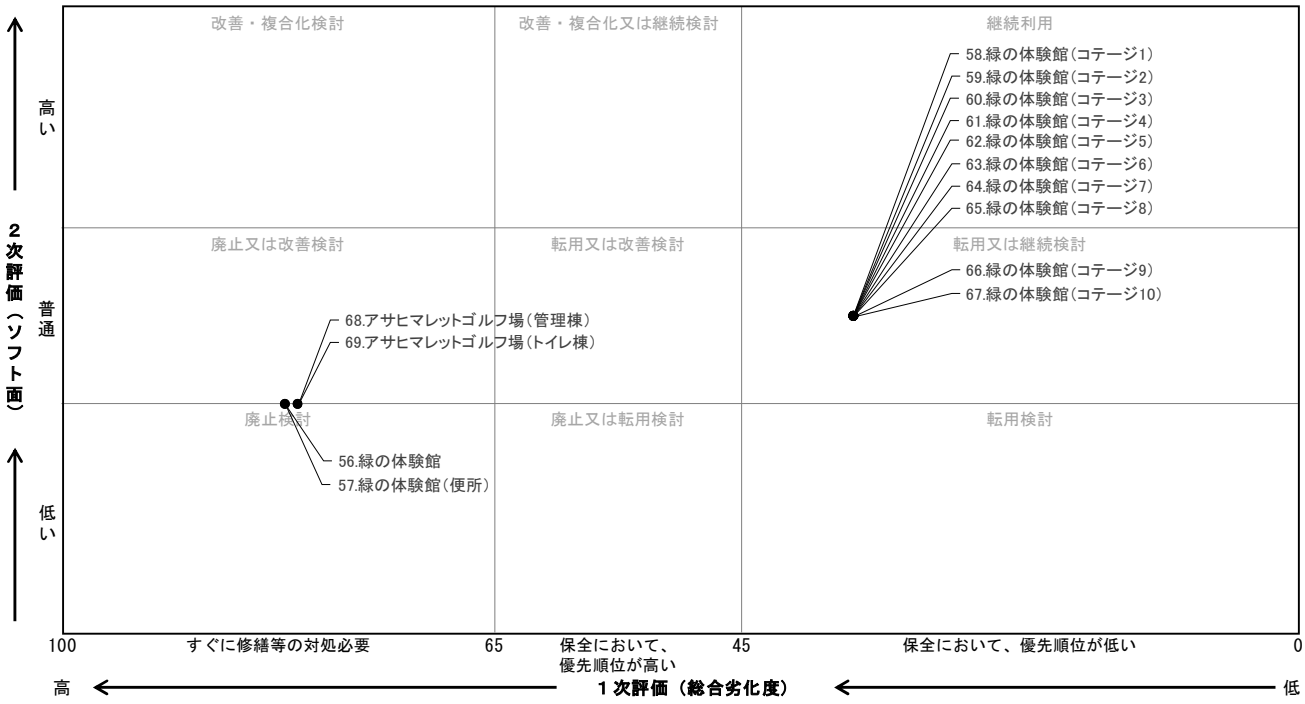
（6）スポーツ・レクリエーション系施設②

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
56	緑の体験館	緑の体験館	古見273番地	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	RC	707.78	S63（1988）	36	指定管理	レクリエーション施設	有	2	1	2	3.75			長寿命	（82）
57	緑の体験館	便所	古見273番地	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	23.47	S63（1988）	36	指定管理	利用者トイレ	無	2	1	2	3.75			長寿命	（82）
58	緑の体験館	コテージ1	古見274番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
59	緑の体験館	コテージ2	古見272番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
60	緑の体験館	コテージ3	古見272番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
61	緑の体験館	コテージ4	古見272番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
62	緑の体験館	コテージ5	古見271番地3	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
63	緑の体験館	コテージ6	古見270番地3	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
64	緑の体験館	コテージ7	古見268番地2	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
65	緑の体験館	コテージ8	古見268番地2	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
66	緑の体験館	コテージ9	古見270番地3	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
67	緑の体験館	コテージ10	古見268番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	60.32	H26（2014）	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
68	アサヒマレットゴルフ場	管理棟	小野沢1571番地ロ	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	65.32	H1（1989）	35	直営	スポーツ・レクリエーション施設	無	2	1	2	3.75			長寿命	（81）
69	アサヒマレットゴルフ場	トイレ棟	小野沢1527番地ロ	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	14.90	H1（1989）	35	直営	利用者トイレ	無	2	1	2	3.75			長寿命	（81）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
			● 95.5	● 95.5																			○ 80																	56
			● 6										◇ 11																											57
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	58
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	59
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	60
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	61
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	62
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	63
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	64
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	65
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	66
		△ 7												● 16													○ 7													◇ 27	67
	■																																							68
	■																																							69
		70	101.5	95.5									11	160									80				70												270	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
56	緑の体験館	緑の体験館	利用形態が設置目的と合致していない	再活用について検討し、活性化が困難であれば廃止を検討	検討継続	検討継続
57	緑の体験館	便所	利用形態が設置目的と合致していない	再活用について検討し、活性化が困難であれば廃止を検討	検討継続	検討継続
58	緑の体験館	コテージ1	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
59	緑の体験館	コテージ2	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
60	緑の体験館	コテージ3	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
61	緑の体験館	コテージ4	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
62	緑の体験館	コテージ5	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
63	緑の体験館	コテージ6	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
64	緑の体験館	コテージ7	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
65	緑の体験館	コテージ8	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
66	緑の体験館	コテージ9	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
67	緑の体験館	コテージ10	稼動率が上がらない	指定管理者と連携し、稼働率アップに努める	継続	継続
68	アサヒマレットゴルフ場	管理棟	利用者数の減少、令和8年5月に借地契約が切れるため、それ以降廃止を行う	2026年取壊し	廃止	取壊し
69	アサヒマレットゴルフ場	トイレ棟	利用者数の減少、令和8年5月に借地契約が切れるため、それ以降廃止を行う	2026年取壊し	廃止	取壊し

（6）スポーツ・レクリエーション系施設③

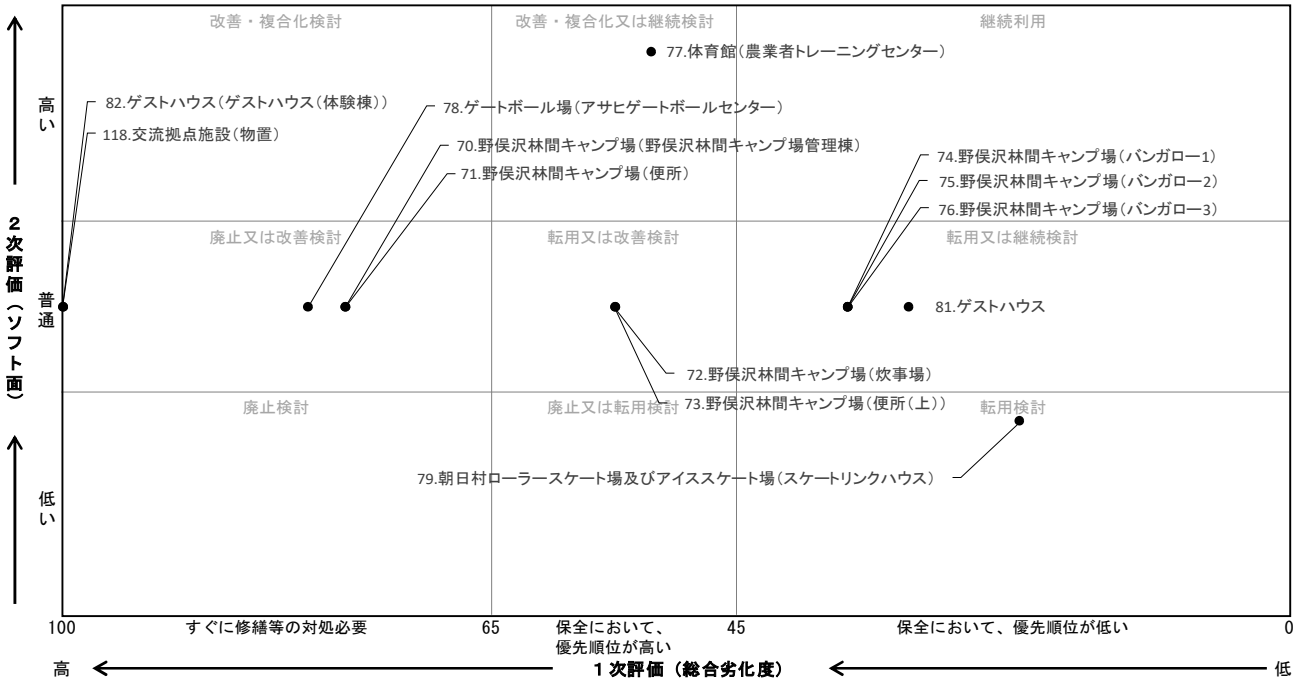
２次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
70	野俣沢林間キャンプ場	野俣沢林間キャンプ場管理棟	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	116.35	H5(1993)	31	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（77）
71	野俣沢林間キャンプ場	便所	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	59.20	H5(1993)	31	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（77）
72	野俣沢林間キャンプ場	炊事場	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	28.98	H7(1995)	29	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（55）
73	野俣沢林間キャンプ場	便所（上）	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	59.21	H7(1995)	29	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（55）
74	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー1	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	28.03	H26(2014)	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
75	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー2	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	28.03	H26(2014)	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
76	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー3	古見7番地1	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	28.03	H26(2014)	10	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（36）
77	体育館	農業者トレーニングセンター	古見1289番地2	教育委員会	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	RC	2,391.00	S58(1983)	41	直営	スポーツ施設	有	3	3	3	6.75			長寿命	52
78	ゲートボール場	アサヒゲートボールセンター	古見1300番地6	教育委員会	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	524.00	H2(1990)	34	直営	スポーツ施設	無	2	2	2	4.50		利用者固定化	長寿命	（80）
79	朝日村ローラースケート場及びアイススケート場	スケートリンクハウス	針尾353番地2	教育委員会	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	64.60	H25(2013)	11	直営	スポーツ施設	無	1	2	2	3.50	2023長寿命化改修	利用者減	長寿命	（22）
81	ゲストハウス	ゲストハウス	古見68番2	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	146.48	H31(2019)	5	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（31）
82	ゲストハウス	ゲストハウス（体験棟）	古見68番2	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	197.35	T8(1919)	105	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			改築	（170）
118	交流拠点施設	物置	古見68番2	産業振興課	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系	W	19.83	T8(1919)	105	指定管理	レクリエーション施設	無	2	2	2	4.50			改築	（170）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
						○ 13												◇ 52																						70
						○ 7												◇ 27																						71
								○ 3												◇ 13																				72
								○ 7												◇ 27																				73
		△ 3												● 8													○ 3												◇ 13	74
		△ 3												● 8													○ 3												◇ 13	75
		△ 3												● 8													○ 3												◇ 13	76
■ 127	● 9	● 167	■ 3.5															○ 270																				◇ 538	◇ 538	77
			○ 59												◇ 236																									78
	△ 7												● 17													○ 7												◇ 29		79
							△ 17												● 40													○ 17								81
																																								82
																																								118
127	16	176	62.5			20	17	10					17	24	236			349	40	40						7	9					17						567	577	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
70	野俣沢林間キャンプ場	野俣沢林間キャンプ場管理棟	経年劣化部を随時改修（給湯器交換）	指定管理により管理を継続	継続	継続
71	野俣沢林間キャンプ場	便所		指定管理により管理を継続	継続	継続
72	野俣沢林間キャンプ場	炊事場		指定管理により管理を継続	継続	継続
73	野俣沢林間キャンプ場	便所（上）	経年劣化部を随時改修（手摺り等）	指定管理により管理を継続	継続	継続
74	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー1		指定管理により管理を継続	継続	継続
75	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー2		指定管理により管理を継続	継続	継続
76	野俣沢林間キャンプ場	バンガロー3		指定管理により管理を継続	継続	継続
77	体育館	農業者トレーニングセンター	壁・床経年劣化の進行		継続	検討継続
78	ゲートボール場	アサヒゲートボールセンター	利用者数の減少、目的外利用（野球、消防、モルックなど雨天冬期時の屋根付き施設としての利用）の増加、蛍光灯の製造中止に伴う設備の維持管理に関する課題を抱えている	多様な利用方法について検討	検討継続	検討継続
79	朝日村ローラースケート場及びアイススケート場	スケートリンクハウス	利用者数の減少・借地	あり方について検討	検討継続	検討継続
81	ゲストハウス	ゲストハウス		指定管理により管理を継続	継続	継続
82	ゲストハウス	ゲストハウス（体験棟）	築130年程度の古民家を利用。公共施設としての耐震の安全性が確保されていない。今後、体験棟と納屋については、補助金返還及び譲渡を検討しないと利用が不可能。	指定管理により管理を継続（譲渡の検討）	継続	検討継続
118	交流拠点施設	物置	築131年程度の古民家を利用。公共施設としての耐震の安全性が確保されていない。今後、体験棟と納屋については、補助金返還及び譲渡を検討しないと利用が不可能。	指定管理により管理を継続（譲渡の検討）	継続	検討継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

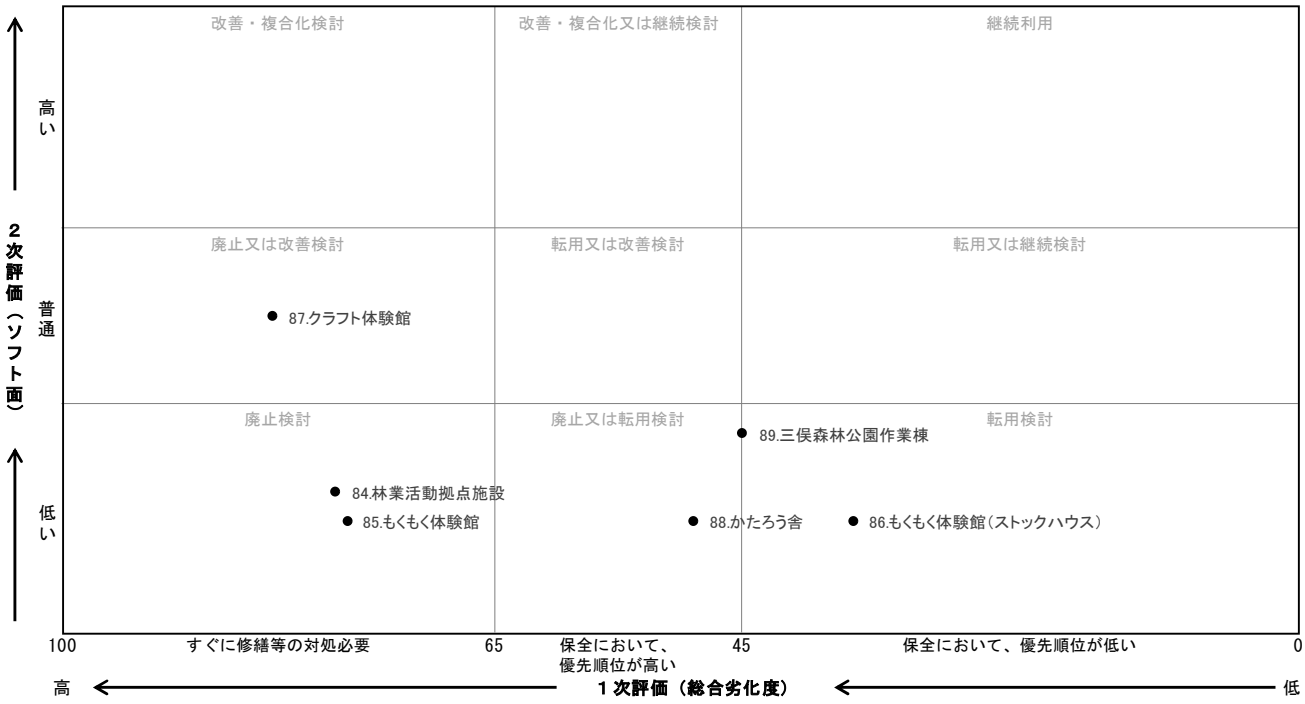
（７）産業系施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
84	林業活動拠点施設	林業活動拠点施設	古見249番地1	産業振興課	産業系	W	53.00	H4（1992）	32	指定管理	産業振興施設	無	1	2	1	3.00			長寿命	（78）
85	もくもく体験館	もくもく体験館	古見264番地1	産業振興課	産業系	W	126.55	H5（1993）	31	直営	炭焼き体験施設	無	1	1	2	2.75			長寿命	（77）
86	もくもく体験館	ストックハウス	古見264番地1	産業振興課	産業系	W	54.66	H26（2014）	10	直営	産業振興施設	無	1	1	2	2.75			長寿命	（36）
87	クラフト体験館	クラフト体験館	古見314番地	産業振興課	産業系	W	336.72	S62（1987）	37	直営	木工体験施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（83）
88	かたろう舎	かたろう舎	小野沢734番地3	産業振興課	産業系	W	140.73	H13（2001）	23	直営	農協青年部の集会所	無	1	1	2	2.75			長寿命	（49）
89	三俣森林公園作業棟	三俣森林公園作業棟	古見5番地21	産業振興課	産業系	W	69.00	H17（2005）	19	直営	産業振興施設	無	1	2	2	3.50			長寿命	（45）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
					○ 7												◇ 27																							84
						○ 16												◇ 63																						85
		△ 7												● 16													○ 7												◇ 27	86
		● 101										◇ 168																												87
■																																								88
					● 21													○ 9												◇ 35										89
		108			28	16						168		16			27	72									7			35									27	合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
84	林業活動拠点施設	林業活動拠点施設		指定管理により管理を継続	継続	継続
85	もくもく体験館	もくもく体験館	利用回数が少ない。	活用方法の再検討を行い、活性化が困難な場合は廃止	検討継続	検討継続
86	もくもく体験館	ストックハウス	利用回数が少ない。	活用方法の再検討を行い、活性化が困難な場合は廃止	検討継続	検討継続
87	クラフト体験館	クラフト体験館		継続して管理	継続	継続
88	かたろう舎	かたろう舎	ＪＡ管理	2025廃止	検討継続	取壊し
89	三俣森林公園作業棟	三俣森林公園作業棟	利用回数が少ない。	適切な維持管理	継続	長寿命化

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

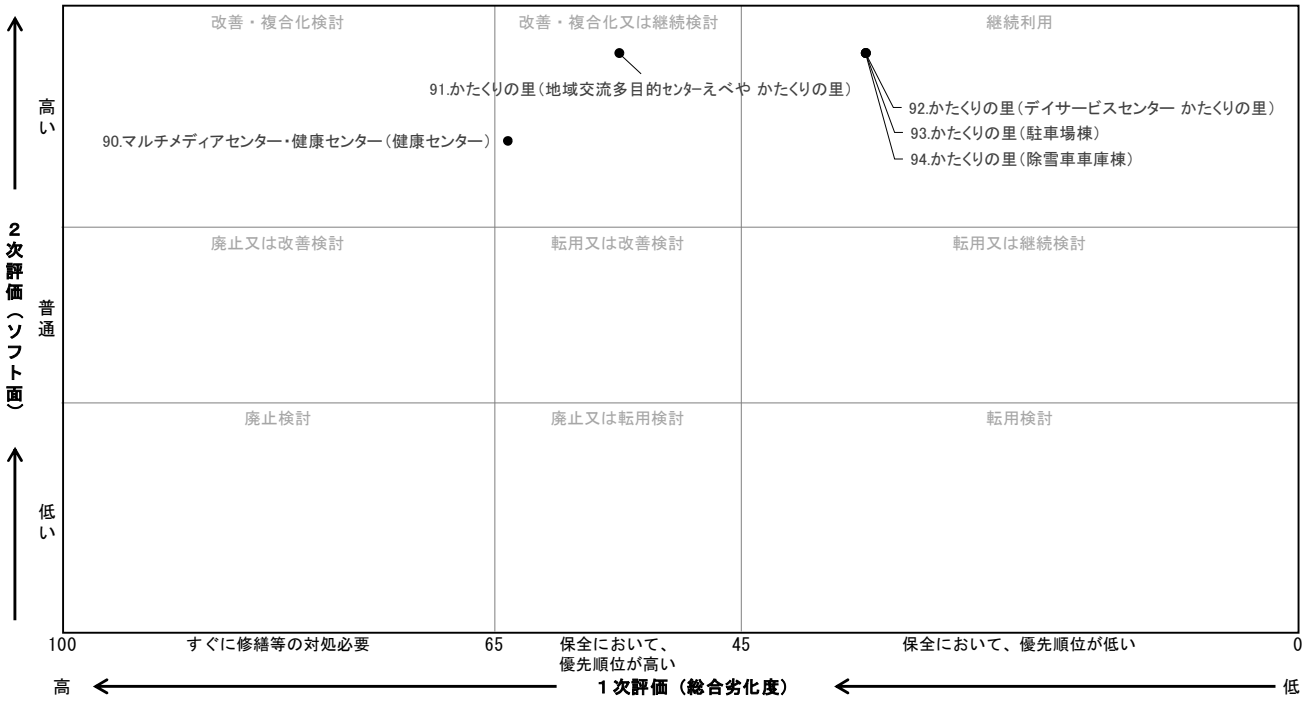
（８）保健・福祉施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
90	マルチメディアセンター・健康センター	健康センター	古見1286番地	総務課	保健・福祉	RC	896.00	S61（1986）	38	直営	健康増進	無	3	2	3	6.00			長寿命	64
91	かたくりの里	地域交流多目的ｾﾝﾀｰえべや かたくりの里	古見773番地	住民福祉課	保健・福祉	RC	707.53	H6（1994）	30	指定管理	老人福祉施設	有	3	3	3	6.75		○令和7年度長寿命化に伴う建築物劣化度調査を実施。	長寿命	55
92	かたくりの里	デイサービスセンター かたくりの里	古見773番地	住民福祉課	保健・福祉	S	580.80	H27（2015）	9	指定管理	老人福祉施設	有	3	3	3	6.75			長寿命	（35）
93	かたくりの里	駐車場棟	古見773番地	住民福祉課	保健・福祉	S	67.03	H27（2015）	9	指定管理	駐車場	無	3	3	3	6.75			長寿命	（35）
94	かたくりの里	除雪車車庫棟	古見773番地	住民福祉課	保健・福祉	S	10.29	H27（2015）	9	指定管理	除雪車車庫	無	3	3	3	6.75			長寿命	（35）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕その他

③中・長期計画

（百万円）

	R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	番号
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
	● 121	● 121																			○ 101																			90
■ 3									● 95.5	● 95.5																			○ 80											91
■ 1										△ 66																				● 78.5	● 78.5										92
■										△ 8																				● 9	● 9										93
■										△ 1																				● 1.5	● 1.5										94
4	121	121							95.5	170.5											101								80	89	89									合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
90	マルチメディアセンター・健康センター	健康センター	築後40年が経過し、経年劣化の進行	公民館周辺のあり方にあわせ検討 平成21年に改修しているので、そこから20年、40年と改修を先送り	継続	継続
91	かたくりの里	地域交流多目的ｾﾝﾀｰえべや　かたくりの里	施設一帯は、浸水想定区域である為、蓄電池・キュービクル・分電盤を地面より５０センチ以上に嵩上げ改修する必要がある。	劣化状況に応じて改修	継続	継続
92	かたくりの里	デイサービスセンターかたくりの里		劣化状況に応じて改修	継続	継続
93	かたくりの里	駐車場棟		劣化状況に応じて改修	継続	継続
94	かたくりの里	除雪車車庫棟		劣化状況に応じて改修	継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

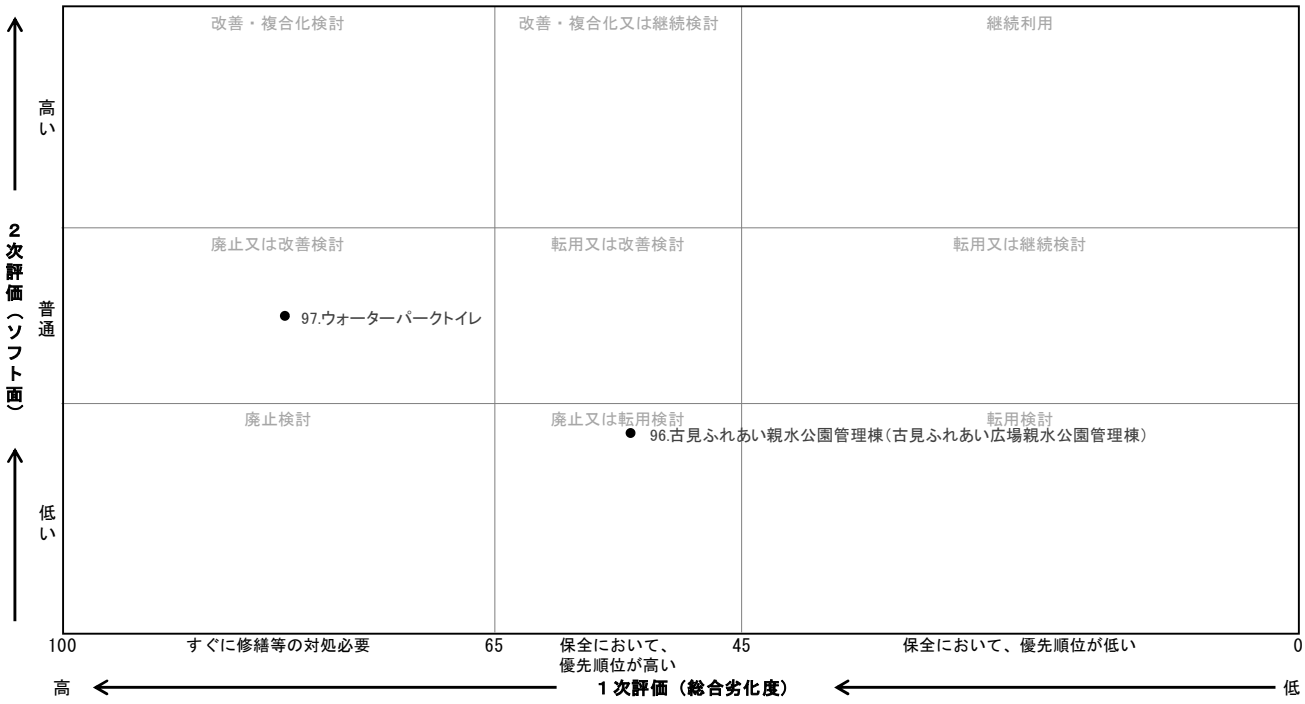
（9）公園施設

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
96	古見ふれあい親水公園管理棟	古見ふれあい広場親水公園管理棟	古見1970番地	総務課	公園	W	172.25	H8（1996）	28	地区	公園管理事務所	無	1	2	2	3.50			長寿命	（54）
97	ウォーターパークトイレ	ウォーターパークトイレ	古見341番地1	建設環境課	公園	W	17.98	S63（1988）	36	直営	利用者トイレ	無	2	2	2	4.50			長寿命	（82）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
									○ 18												■																			96
	○ 2												◇ 7																											97
	2								18				7																											合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
96	古見ふれあい親水公園管理棟	古見ふれあい広場親水公園管理棟	古見区管理	取壊しで検討	検討	継続
97	ウォーターパークトイレ	ウォーターパークトイレ		適切な維持管理	継続	継続

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

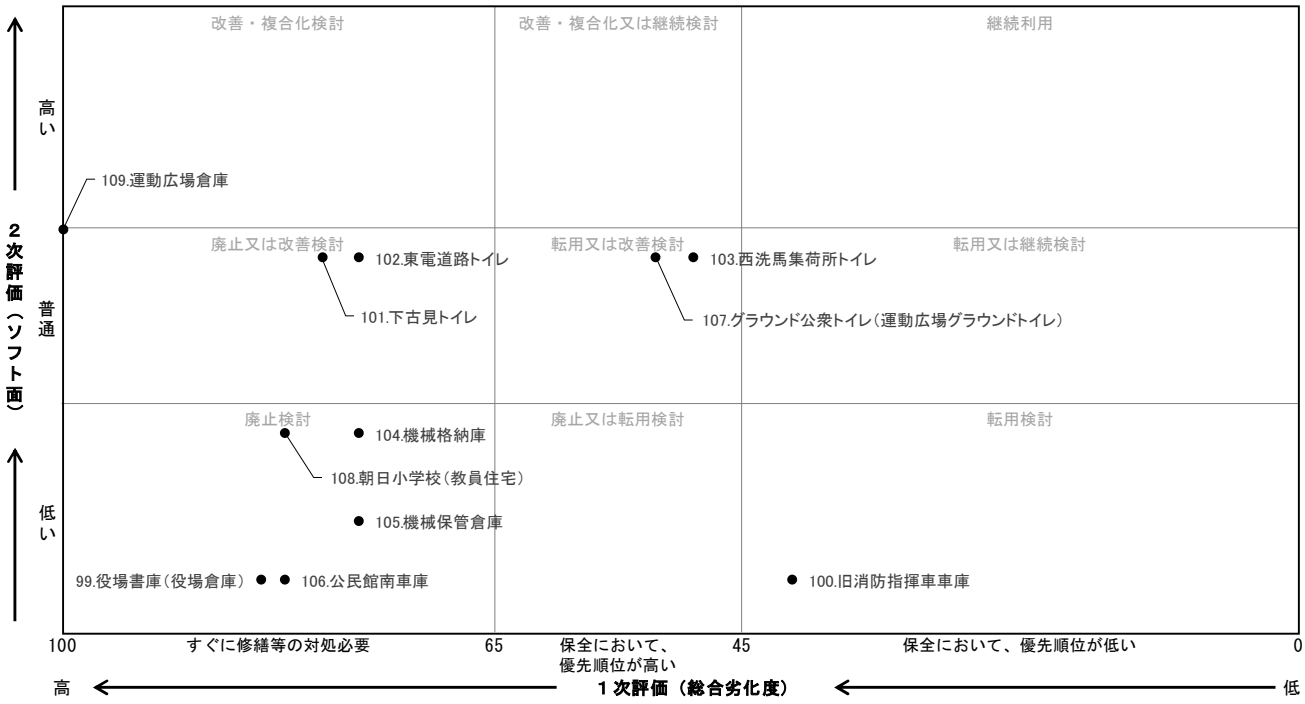
（10）その他施設①

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
99	役場書庫	役場倉庫	古見412番地2	総務課	その他	S	117.00	S61（1986）	38	直営	倉庫	無	1	1	1	2.25			長寿命	（84）
100	旧消防指揮車車庫	旧消防指揮車車庫	小野沢296番地5	総務課	その他	LGS	37.60	H21（2009）	15	直営	車庫	無	1	1	1	2.25			改築	（41）
101	下古見トイレ	下古見トイレ	古見2356番地4	総務課	その他	W	11.76	H3（1991）	33	直営	公衆トイレ	無	2	2	3	5.00			長寿命	（79）
102	東電道路トイレ	東電道路トイレ	古見2889番地7	総務課	その他	W	15.23	H6（1994）	30	直営	公衆トイレ	無	2	2	3	5.00			長寿命	（76）
103	西洗馬集荷所トイレ	西洗馬集荷所トイレ	西洗馬899番地1	産業振興課	その他	W	14.00	H13（2001）	23	直営	公衆トイレ	無	2	2	3	5.00			長寿命	（49）
104	機械格納庫	機械格納庫	古見315番地	産業振興課	その他	LGS	117.00	H6（1994）	30	直営	ｸﾗﾌﾄ体験館　除雪機格納庫	無	1	2	2	3.50			改築	（76）
105	機械保管倉庫	機械保管倉庫	古見315番地	産業振興課	その他	LGS	42.00	H6（1994）	30	直営	ｸﾗﾌﾄ体験館　除雪機格納庫	無	1	1	2	2.75			改築	（76）
106	公民館南車庫	公民館南車庫	古見1286番地	教育委員会	その他	W	117.00	S63（1988）	36	直営	車庫	無	1	1	1	2.25		防災倉庫と公民館周辺の整備計画によって廃止時期を検討	長寿命	（82）
107	グラウンド公衆トイレ	運動広場グラウンドトイレ	古見1300番地5	教育委員会	その他	W	40.00	H10（1998）	26	直営	利用者トイレ	無	2	2	3	5.00			長寿命	（52）
108	朝日小学校	教員住宅	古見960番地1	教育委員会	その他	W	167.00	S61（1986）	38	直営	教員住宅	無	1	2	2	3.50			長寿命	82
109	運動広場倉庫	運動広場倉庫	古見1300番地5	教育委員会	その他	LGS	85.00	S57（1982）	42	直営	運動器具置場	無	2	3	2	5.25			改築	（107）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕 その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
																					○ 13																			99
														■																										100
				○ 1												◇ 5																								101
							○ 2												◇ 7																					102
		△ 2												○ 2												◇ 6														103
					◇ 53																																			104
					■																																			105
													■																											106
	△ 5										○ 5												◇ 18																	107
											◇ 75																													108
					◇ 38																																			109
	5	2		1	91		2				80			2		5			7		13		18			6														合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
99	役場書庫	役場倉庫		耐用年数経過後取壊し	廃止	取壊し
100	旧消防指揮車車庫	旧消防指揮車車庫	新庁舎建設により、役割終了	取壊し又は小野沢区へ譲渡	廃止	取壊し
101	下古見トイレ	下古見トイレ		適切な維持管理	継続	継続
102	東電道路トイレ	東電道路トイレ		適切な維持管理	継続	継続
103	西洗馬集荷所トイレ	西洗馬集荷所トイレ		適切な維持管理	継続	継続
104	機械格納庫	機械格納庫	スキー場の圧雪機、降雪機の格納庫として利用	改築は2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	検討継続	検討継続
105	機械保管倉庫	機械保管倉庫	現在物置	取壊しは2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	転用	取壊し
106	公民館南車庫	公民館南車庫	老朽化している。縄文土器を保管している。ドーザー車庫として利用している。		廃止	取壊し
107	グラウンド公衆トイレ	運動広場グラウンドトイレ		適切な維持管理	継続	継続
108	朝日小学校	教員住宅	2026築後40年となり長寿命化改修の時期を迎える	適切な維持管理	継続	継続
109	運動広場倉庫	運動広場倉庫	2021築後40年となり改築の時期を迎える	改築は2030年まで延長し、次期計画の改定時に検討	継続	改築

2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

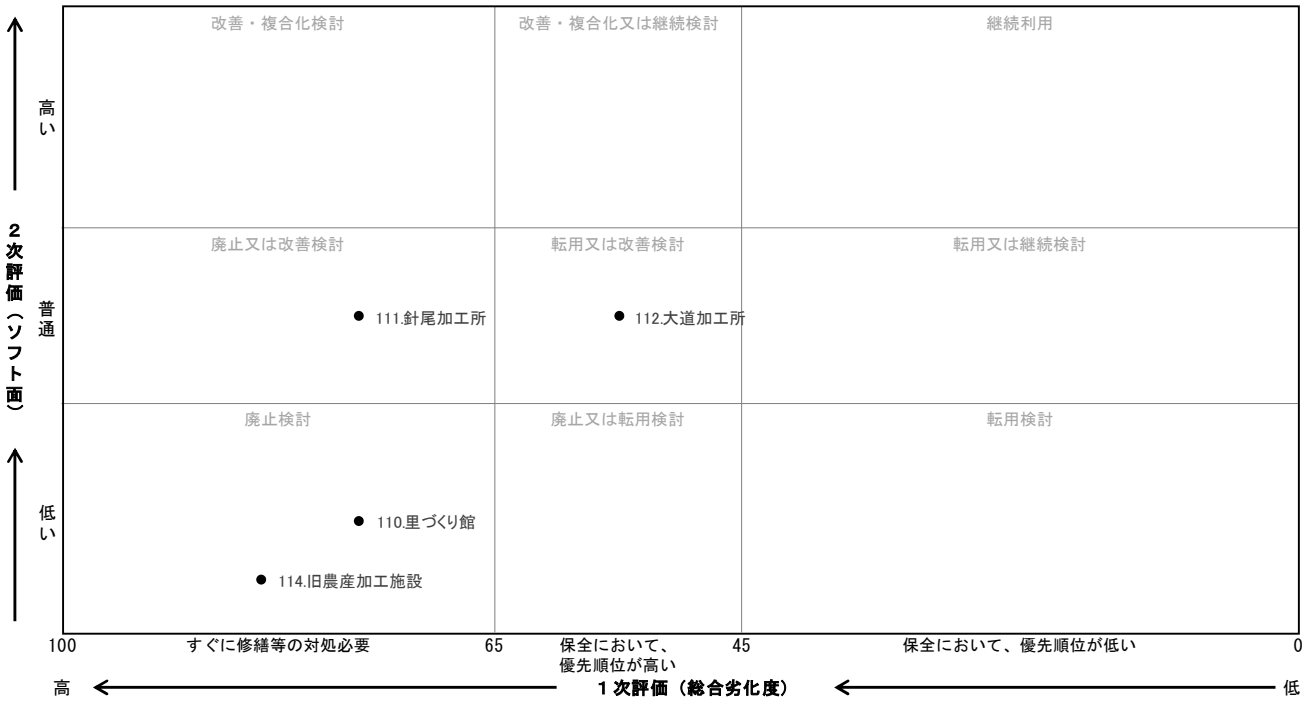
（11）その他施設②

①基礎調査表

建物基本情報										現状										
番号	施設名	建物名	所在地	管理課	大分類	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	管理形態	設置目的、機能、役割	避難所指定	ソフト面の評価（２次評価）				施設整備状況	課題	劣化調査結果（１次評価）	
													重要性	有効性	特質性	評価			試算上の区分（※1）	躯体以外の総合劣化度
110	里づくり館	里づくり館	古見143番地ハ	産業振興課	その他	RC	104.00	H6（1994）	30	直営	産業振興施設	無	1	1	2	2.75			長寿命	（76）
111	針尾加工所	針尾加工所	針尾15番地1	産業振興課	その他	W	245.00	H6（1994）	30	直営	産業振興施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（76）
112	大道加工所	大道加工所	古見566番地1	産業振興課	その他	W	140.00	H7（1995）	29	直営	産業振興施設	無	2	2	2	4.50			長寿命	（55）
113	旧役場庁舎	便所	小野沢296番地5	総務課	その他	W	32.06	H12（2000）	24	直営	利用者トイレ	無	2	2	2	4.50		拠点避難地トイレとして存続	長寿命	（50）
114	旧農産加工施設	旧農産加工施設	古見1286番地	総務課	その他	W	55.47	S61（1986）	38	直営	加工施設	無	1	1	1	2.25			長寿命	（84）

※1　長寿命：長寿命化改修対象　改築：建替え対象

②総合評価



残存使用年数　△ 大規模改造　● 長寿命化改修　○ 大規模改造　◇ 改築　■ 部位修繕その他

③中・長期計画

（百万円）

R7－R16										R17－R26										R27－R36										R37－R46										番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	
									● 14	● 14																			○ 12											110
																			◇ 110																					111
																				◇ 63																				112
	△ 4												○ 4												◇ 14															113
											■																													114
	4								14	14			4						110	63					14				12											合計

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
110	里づくり館	里づくり館	現在観光関係の物置として使用	譲渡も含め検討	廃止	継続
111	針尾加工所	針尾加工所		大型投資を行わず、活用状況を見ながら継続・廃止を検討	検討継続	検討継続
112	大道加工所	大道加工所		大型投資を行わず、活用状況を見ながら継続・廃止を検討	検討継続	検討継続
113	旧役場庁舎	便所	2020大規模改修の時期	適切な維持管理	継続	継続
114	旧農産加工施設	旧農産加工施設			廃止	取壊し

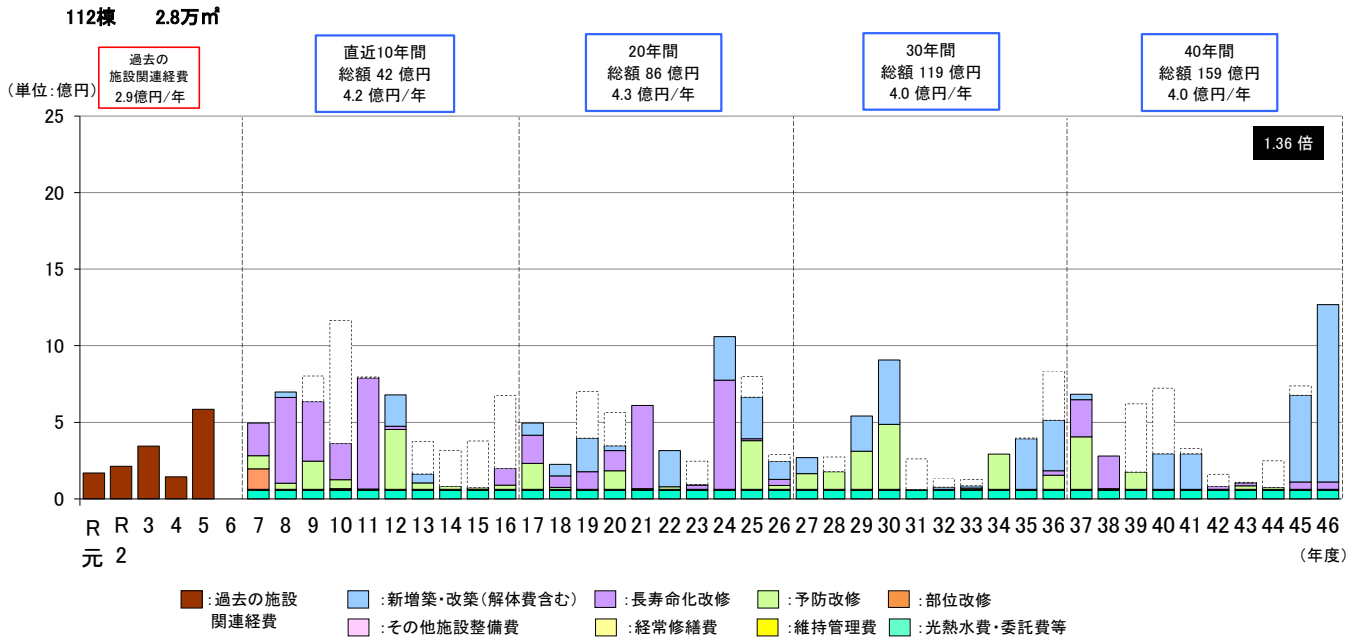
4 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）

施設類型別の個別施設計画（中・長期計画）は、長寿命化型をベースとして、施設ごとの実情に応じた改修や建物の廃止など施設の今後の方向性を考慮して立てた計画であり、今後 40 年間の維持・更新コストは総額 159 億円となり、従来の建替え中心の場合（図表 3-12）の 185 億円より 26 億円（約 14%）、長寿命型の場合（図表 6-8）の 180 億円より 21 億円（約 12%）、それぞれ縮減となります。

40 年間の年平均では 4.0 億円となり、直近５年間の施設関連経費（2.9 億円/年）の約 1.36 倍になります。

一方、直近 10 年間の維持・更新コストを従来型及び長寿命型と比較すると、それぞれ年平均で 4.6 億円、1.4 億円縮減できることとなり、財政負担の平準化という面からも効果が期待できる計画となりました。

◆図表 8-4 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）



コスト試算条件（中・長期計画の事業費を集計）

物価変動率、落札率は考慮しない。

基 準 年 度：2024 年（試算期間：基準年の翌年度から 40 年間）

改　　築：更新周期＜LGS 造 30 年＞ ＜W 造･CB 造 50 年＞ ＜S 造･RC 造･SRC 造 80 年＞
RC 造･SRC 造･S 造については、工事期間 2 年実施
なお、築年数が 40 年超の施設は、基準年度の翌年度から 10 年間に改築費を按分し、計上している。

大規模改造：改築又は長寿命化改修から実施年数 20 年周期

部 位 修 繕：劣化状況及び部位ごとの改修周期を参考に計画

単 価 設 定：改築単価　公共施設等更新費用試算ソフトの更新単価に物価変動を考慮（図表 8-3 参照）
大規模改造は改築単価の 25%、長寿命化改修は改築単価の 60%

５ 個別施設計画（中・長期計画）の実施について

（１）村民一人当たりの延床面積の推計

中・長期計画における取壊し及び譲渡予定の建物を集計し、人口ビジョンの目標人口（3,100 人）により、中・長期計画を実行した場合（新規取得は考慮していません）の 40 年後の一人当たりの延床面積を推計すると約 8.7 ㎡（約 28%増加）となります。

◆図表 8-6 40 年後の一人当たりの延床面積

	R6.4.1 現在	中・長期計画での削減量	40 年後の推計値
総延床面積	27,761.74 ㎡	△735.73 ㎡	27,026.01 ㎡
棟　数	112 棟	△10 棟	102 棟
人　口	4,090 人		3,100 人
延床面積/人	6.8 ㎡/人		8.7 ㎡/人

（２）個別施設計画の実施に向けて

本計画策定に当たり、公共施設の適正配置の検討を行った結果、それぞれに異なる目的と役割を担っているため、現状では数量の大幅な削減は困難な状況にあります。

しかし、第３章のとおり、人口減少の影響は年々大きくなるものとみられます。このため、本計画の実施に当たっては、特に以下の４点に留意する必要があります。

① 現在の建物を有効に活用し、可能な限り永く使用していくことを原則とするが、大規模改修や更新、新築にあたっては、第６次総合計画や総合管理計画等と整合を図り、中長期的な社会情勢とニーズを考慮して、近隣施設との統合や集約、減築等について検討し、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を実行していく。

② 2060 年のチャレンジ目標人口を確保し、一人当たりの延床面積をできるだけ現状維持していく。

③ 利用者等の安全、施設の長寿命化を図るために、予防保全の観点から計画的に保守、修繕、長寿命化改修を進めていく。

④ 人口減少、少子高齢化による利用需要の変化、上位計画の更新などにより、この計画は柔軟に見直していく。

第９章 継続的運用方針

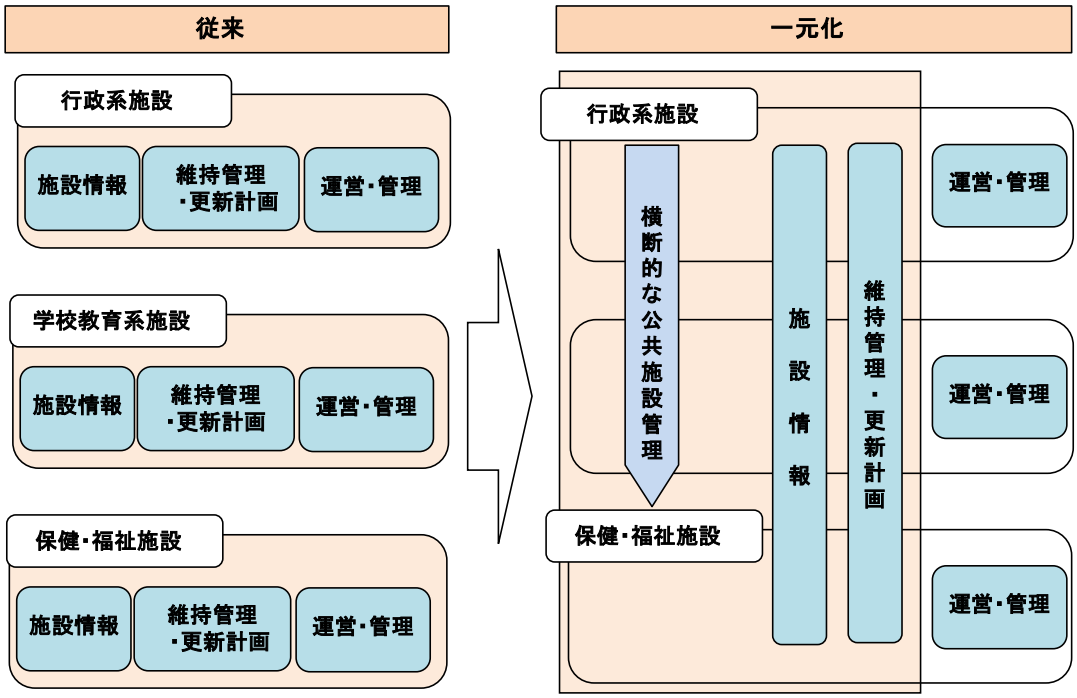
１ 情報基盤の整備と活用

公共施設の点検・診断の結果は、今後の維持管理・更新の基礎資料となる重要な情報であるため、記録・保存する必要があります。また、点検・診断後に修繕等を行った場合の修繕履歴についても、同様に記録することで、効率的な維持管理を行うことが可能となります。

このため施設管理システムを活用して、施設の基本情報、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等の一元管理を行っていきます。

また、固定資産台帳や複式簿記による財務書類との連携方法についても検討します。

◆図表 9-1 施設管理の一元化（イメージ）



２ 財源の確保

厳しい財政状況が予想される中、維持・更新にかかる投資を行うためには、様々な角度からコスト縮減に努め、活用推進による収入の増を図り、計画的に基金を積み立てるなど財源を確保します。また、本計画に位置付けられた事業が対象となる以下の「公共施設等適正管理推進事業債」等を最大限に活用して実施します。

① 集約化・複合化事業‥‥延床面積の減少を伴う集約化・複合化事業
② 長寿命化事業‥‥‥‥‥教育施設を含む耐用年数を延伸させる事業
③ 転用事業‥‥‥‥‥‥‥‥他用途への転用事業
④ 立地適正化事業‥‥‥‥コンパクトシティの形成に向けた事業
⑤ ユニバーサルデザイン化事業‥ユニバーサルデザイン化のための事業

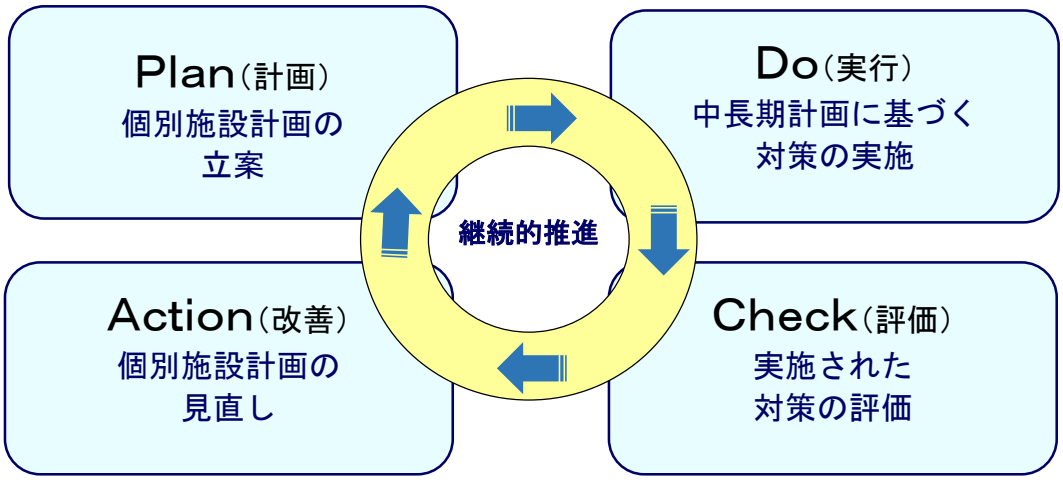
３ 推進体制等の整備

総務課を中心に、公共施設マネジメントを行っていきますが、必要に応じて公共施設整備検討委員会(仮称)を設立して、全庁的な体制を構築します。

また、日常の施設管理の質を向上するため、専門業者による毎月の巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。

４ フォローアップの実施方針

「朝日村総合計画」の改訂等に合わせ、本計画の進捗状況等についてＰＤＣＡ（計画・実行・評価・改善）サイクルを活用するなどし、随時フォローアップを行います。

なお、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら、定期的な見直しを実施するとともに、国の制度変更や社会経済情勢の変化など、前提となる条件が大きく変わった時点で、適宜必要な見直しを行うものとします。

◆図表 9-2 ＰＤＣＡ（計画・実行・評価・改善）サイクル(イメージ)